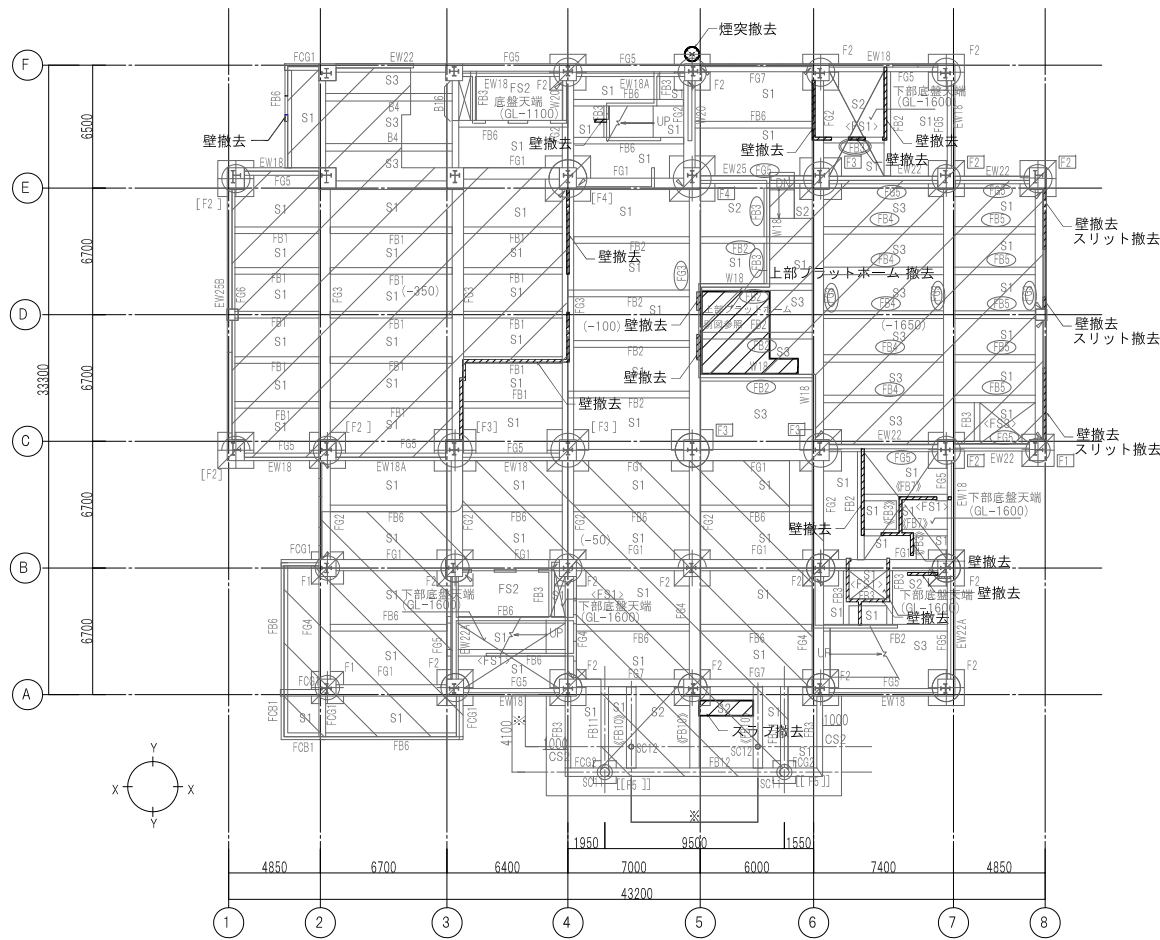


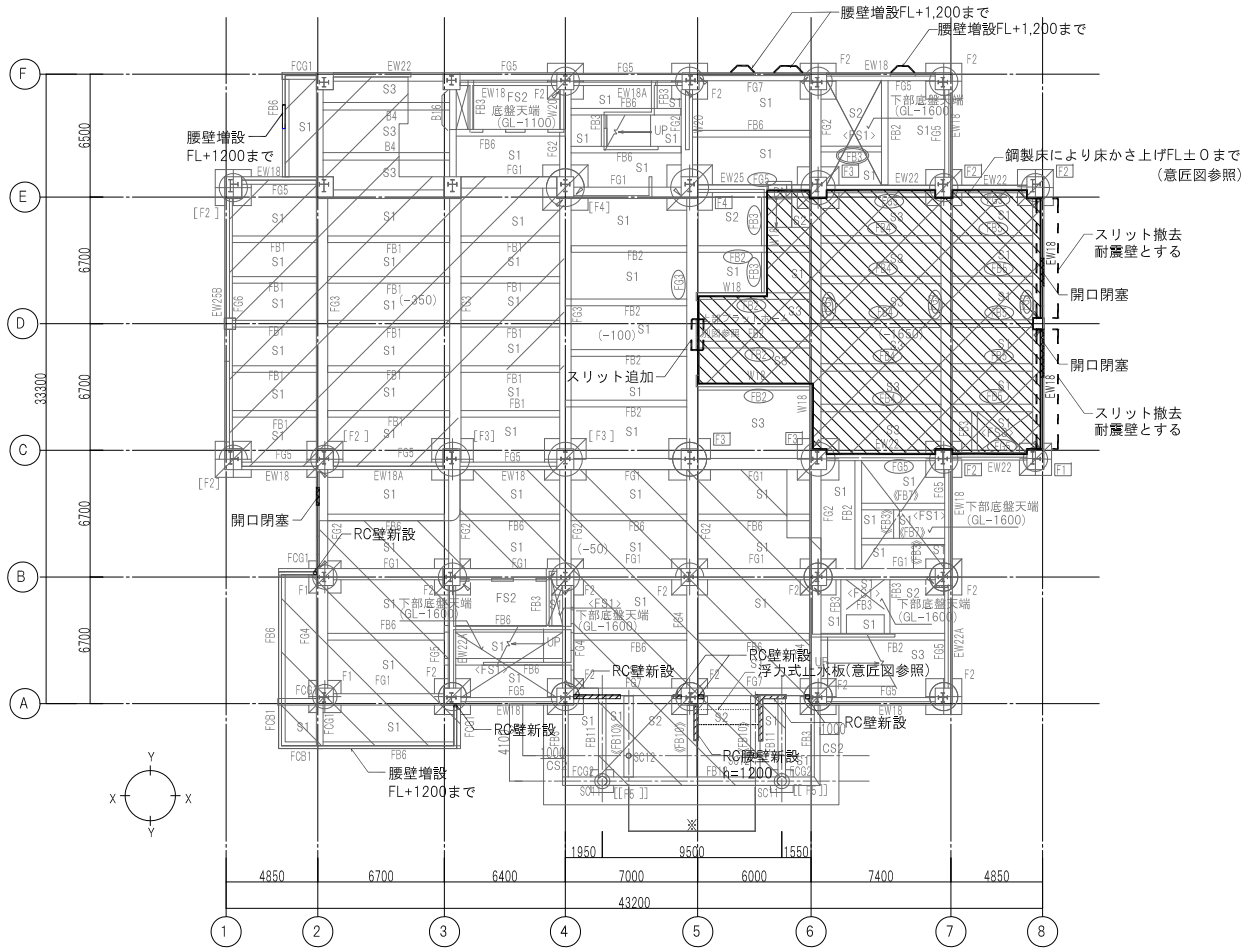
[illegible]



改修前 基礎、1階床梁伏図 1/200

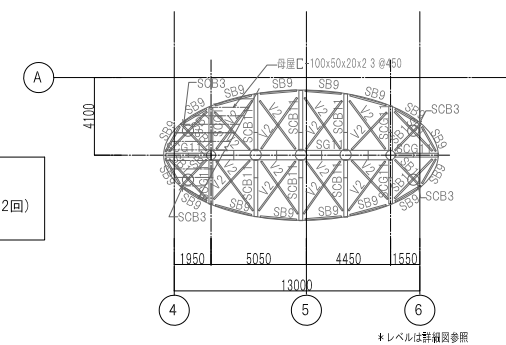
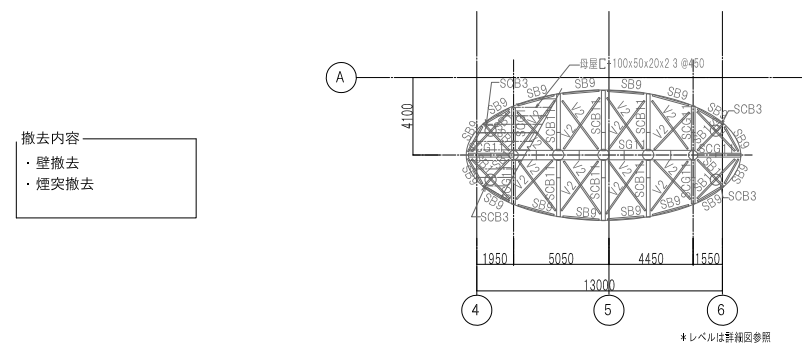
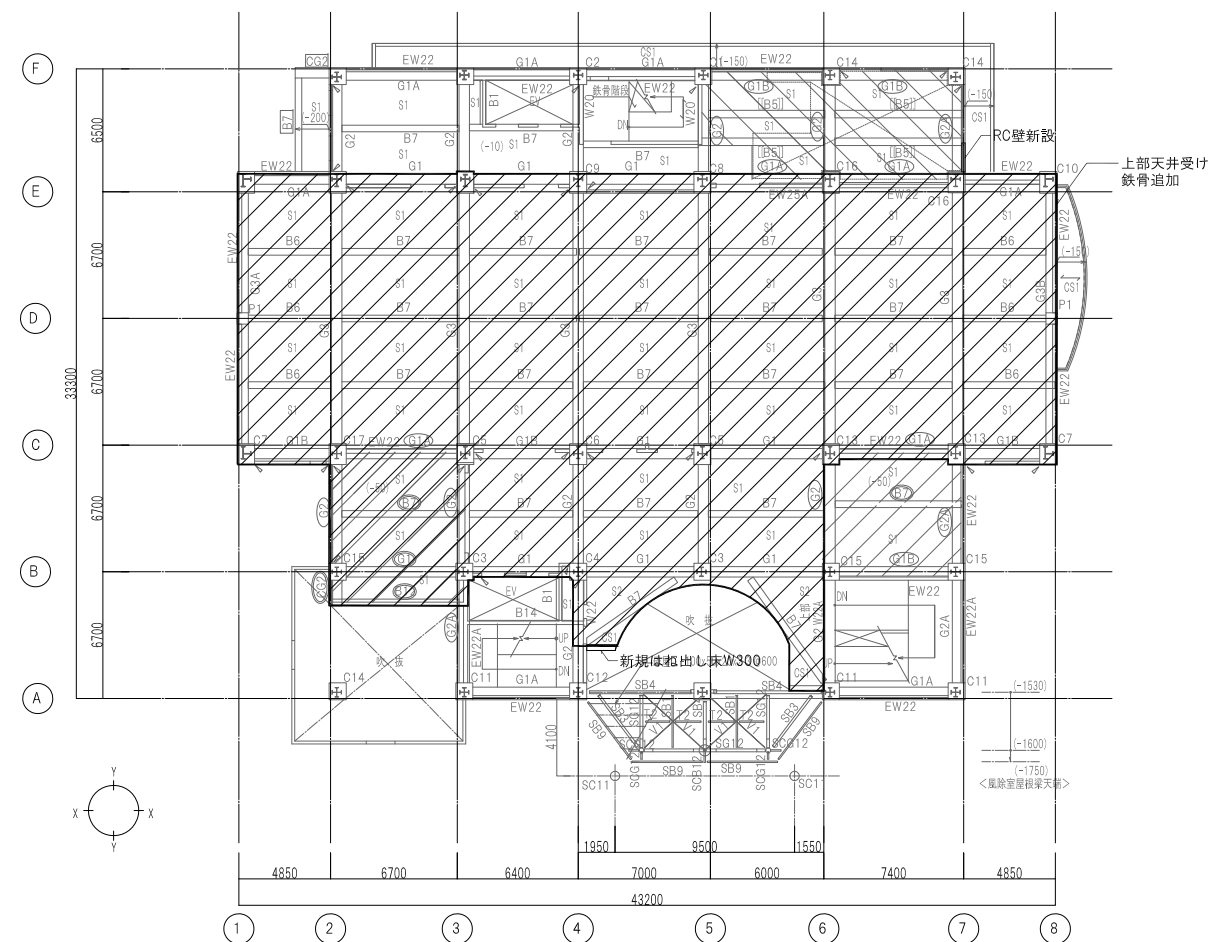
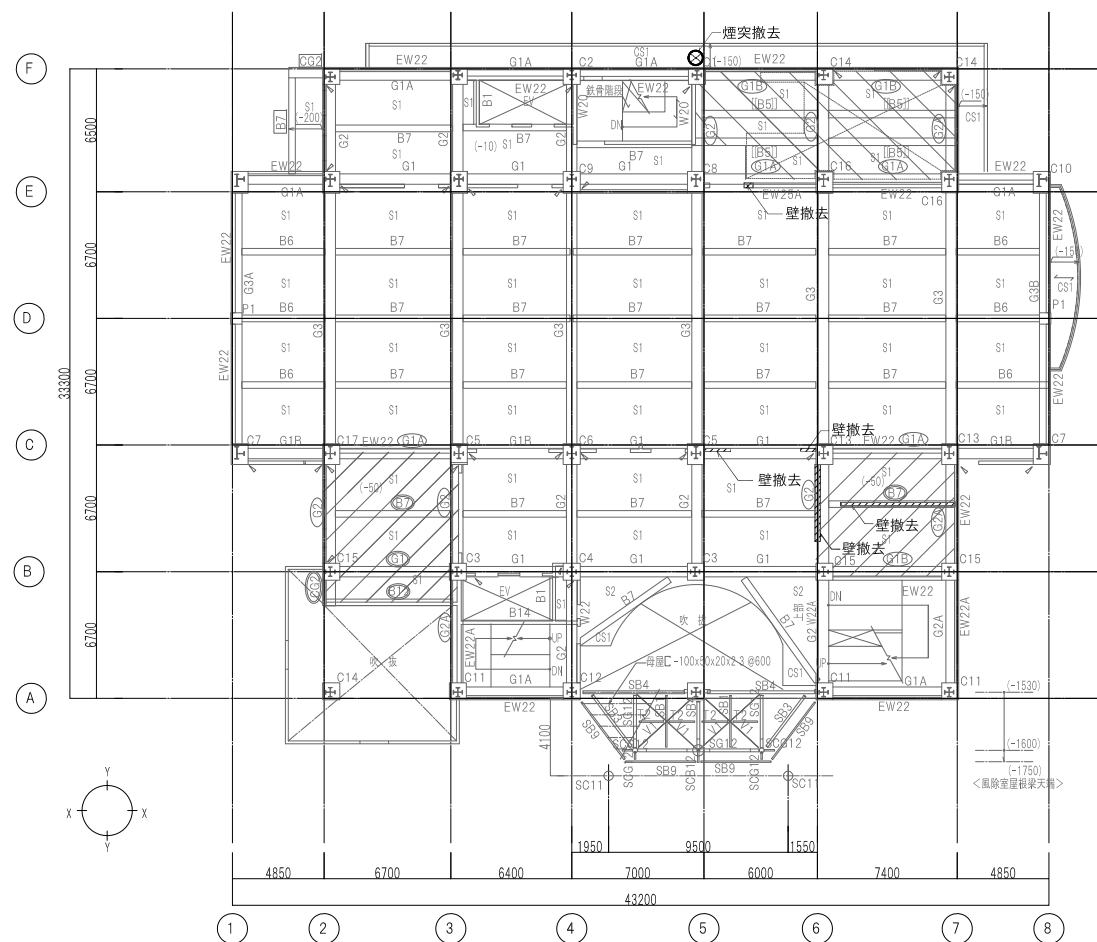
撤去内容
・壁撤去
・スラブ撤去
・プラットホーム撤去
・煙突撤去

特記なき限り下記による	
1.一般壁：W15	
2. 壁スリット	
3. $1FL=GL+500$	
4.一般梁、床版天端：1FL-10	
5. 床版の下り範囲を示し、() 内数値はFLからの下り寸法を示す。	
6. 下部ビット範囲を示し、< > は下部底盤を示す。	
7. 増打コンクリート	
8. ※：左記表示寸法は意匠図参照	
9. 床下点検孔及び人通孔は意匠ビット図参照	
基礎下端は下記による	
一般：GL-2000	一般：GL±0
:GL-3500	:GL-1300
[]:GL-2200	(()):GL+300
[[]]:GL-1800	{ } :GL+450
	:GL+490

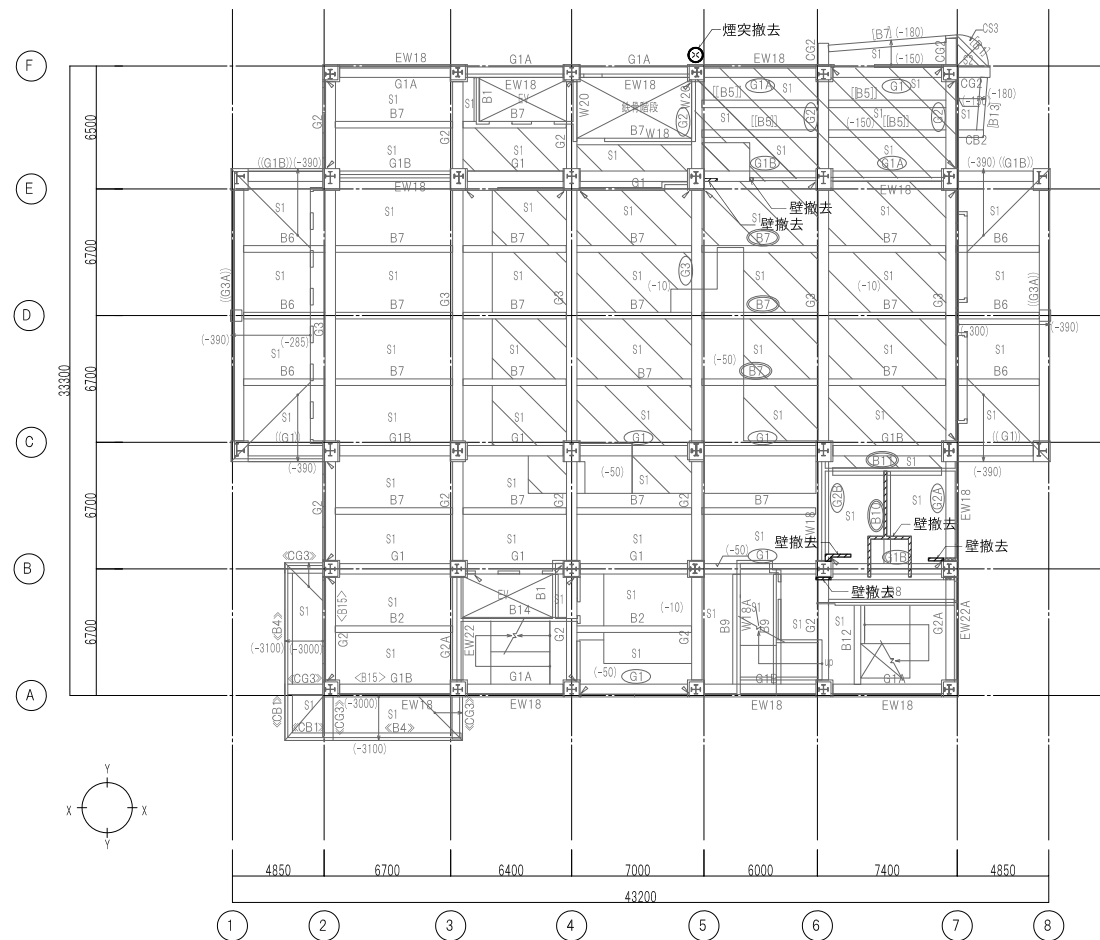


改修後 基礎、1階床梁伏図 1/200

改修内容
・腰壁新設
・開口閉塞

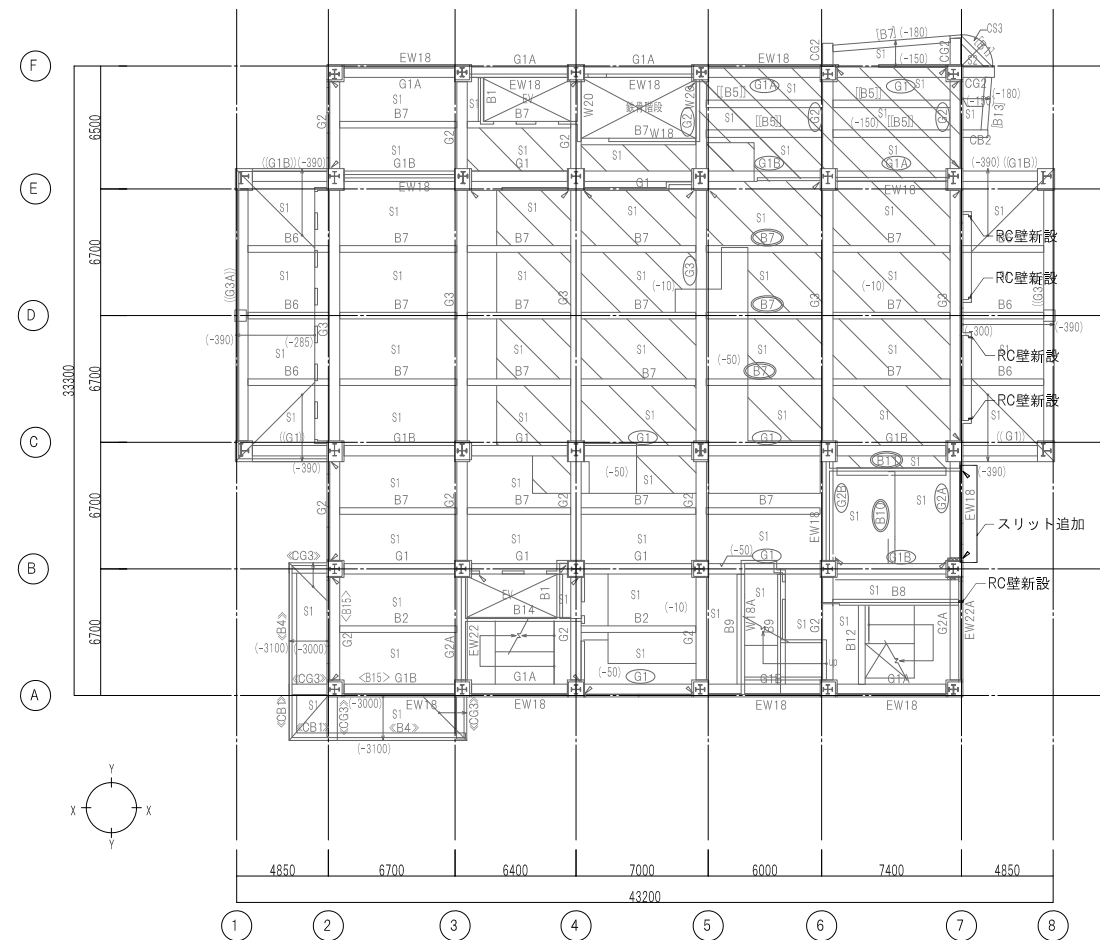


特記なき限り下記による	
1. 一般壁：W18	地中梁天端は下記による
2.  壁スリット	一般：2FL-20
3.  床版の下り範囲	一般：2FL-50
4. () 内数値は 2FLからの寸法を示す。	一般：2FL-170
5.  スラブ及び屋根勾配	一般：2FL-230
6.  増打コンクリート	[[]] 2FL-150
7.  屋根ブレース	
8.  柱・梁の剛接合部	



改修前 3階床梁伏図 1/200

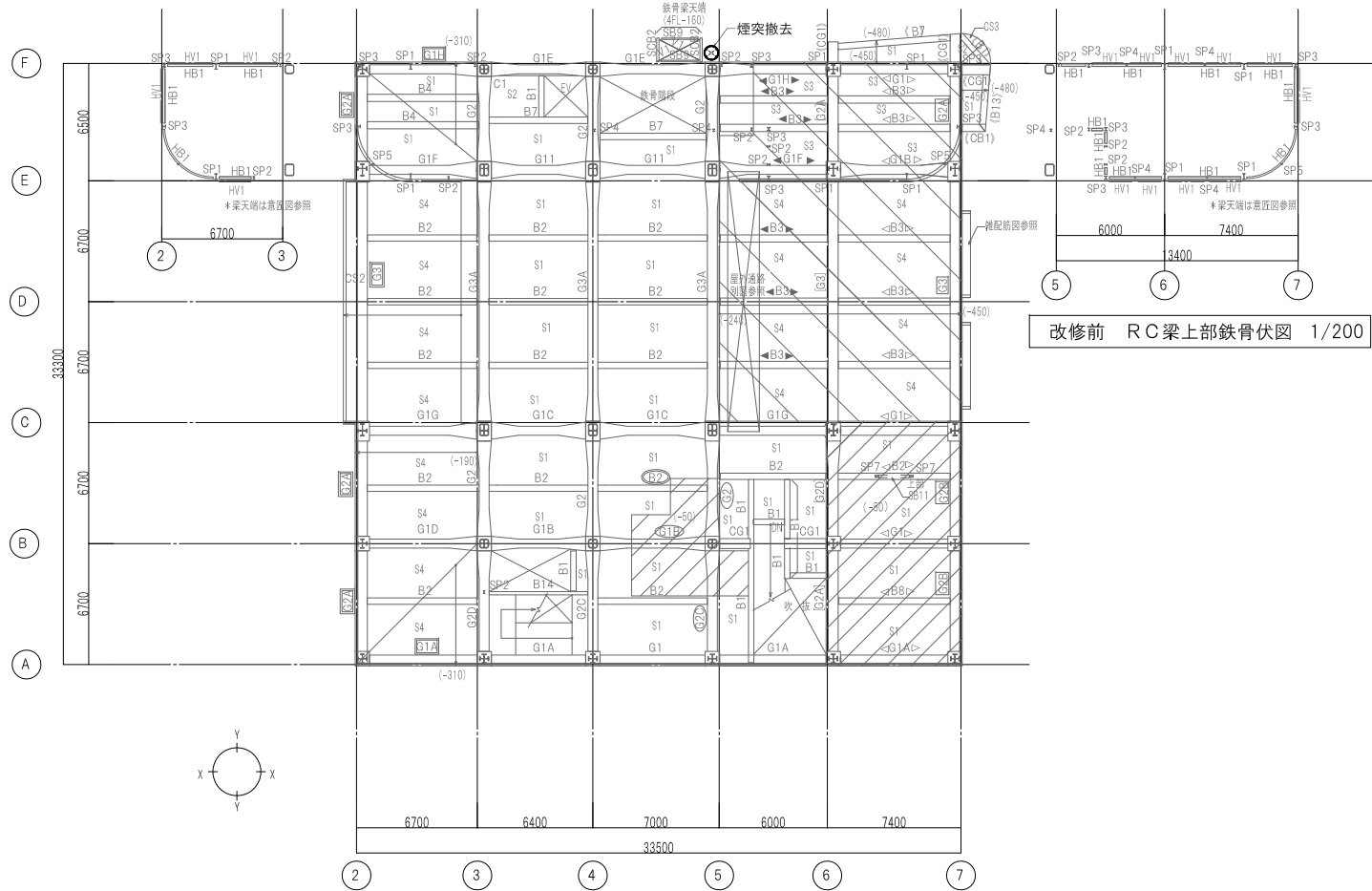
撤去内容
・壁撤去
・煙突撤去



改修後 3階床梁伏図 1/200

改修内容
・構造スリット追加

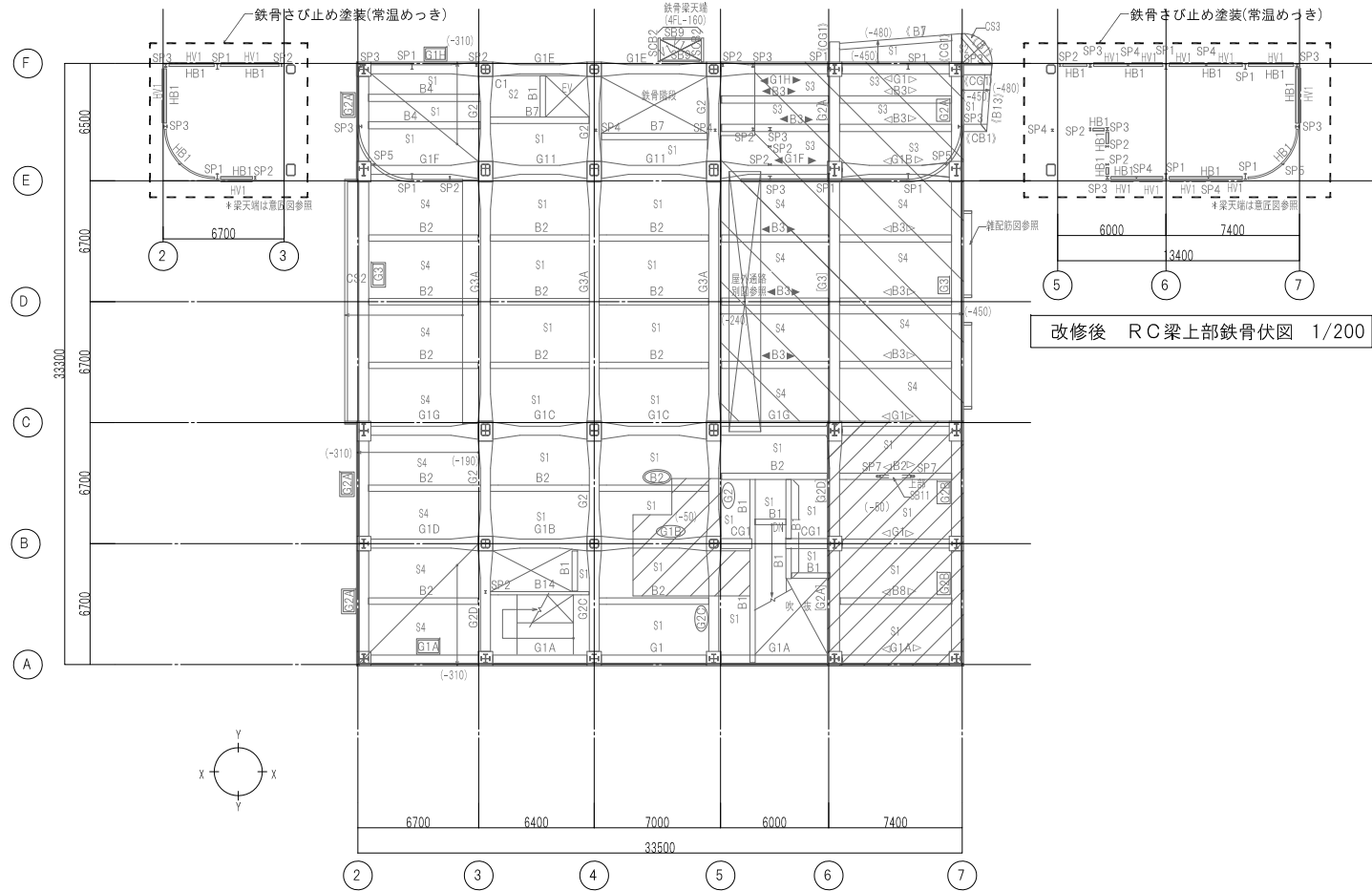
特記なき限り下配による	梁、床版天端は下配による
1.一般壁：W15	一般：3FL-20
2. / ：壁スリット	○：3FL-50
3. []：床版の下り範囲を示し、()内 数値は3FLからの下り寸法を示す。	○：3FL-170
4. ←→：スラブ勾配	[]：3FL-180
5. []：増打コンクリート	(())：3FL-460
6. < >：二段梁	[[]]：3FL-150



改修前 RC梁上部鉄骨伏図 1/200

改修前 4階床梁伏図 1/200

撤去内容
・煙突撤去

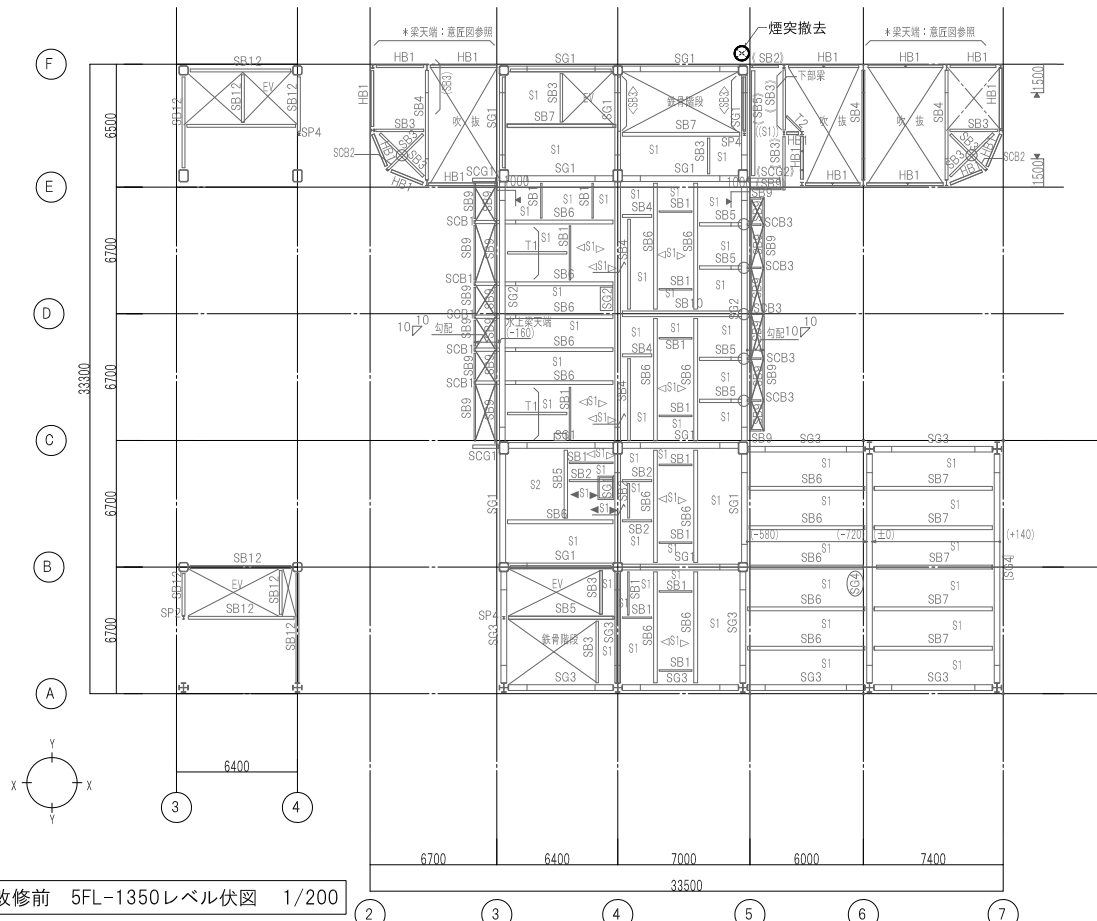


改修後 RC梁上部鉄骨伏図 1/200

改修後 4階床梁伏図 1/200

改修内容
・鉄骨さび止め塗装

特配なき限り下配による	梁、床版天端は下配による
1. : 床版の下り範囲	一般 : 4FL-1.0
2. () 内数値は 4FLからの寸法を示す。	: 4FL-5.0
3. : スラブ勾配	: 4FL-1.60
4. : 増打コンクリート	: 4FL-3.10
	: 4FL-4.50
	: 4FL-4.80
	: 4FL-3.40
	: 4FL-2.40~3.40
	: 4FL-3.40~4.50

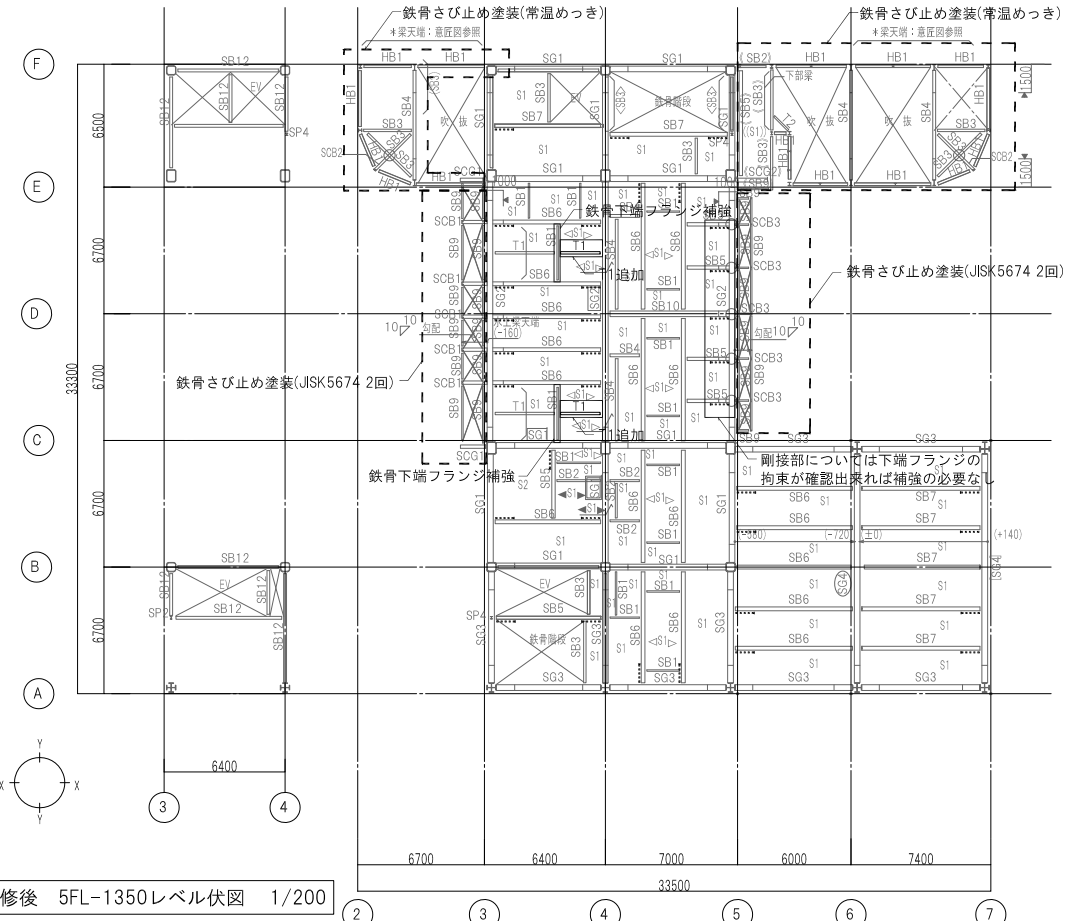


改修前 5FL-1350レベル伏図 1/200

改修前 5階床梁伏図 1/200

撤去内容
・補強部分の鉄骨耐火被覆、さび止め撤去
・煙突撤去

梁、床版天端は下配による	
一般梁 : nFL-160	一般床版 : nFL-10
[] : nFL-10	◀▶ : nFL-160
○ : nFL-150	◁▷ : nFL-200
□ : nFL-310	(()) : nFL-1550
▭ : nFL-460	
《 》 : nFL-1700	

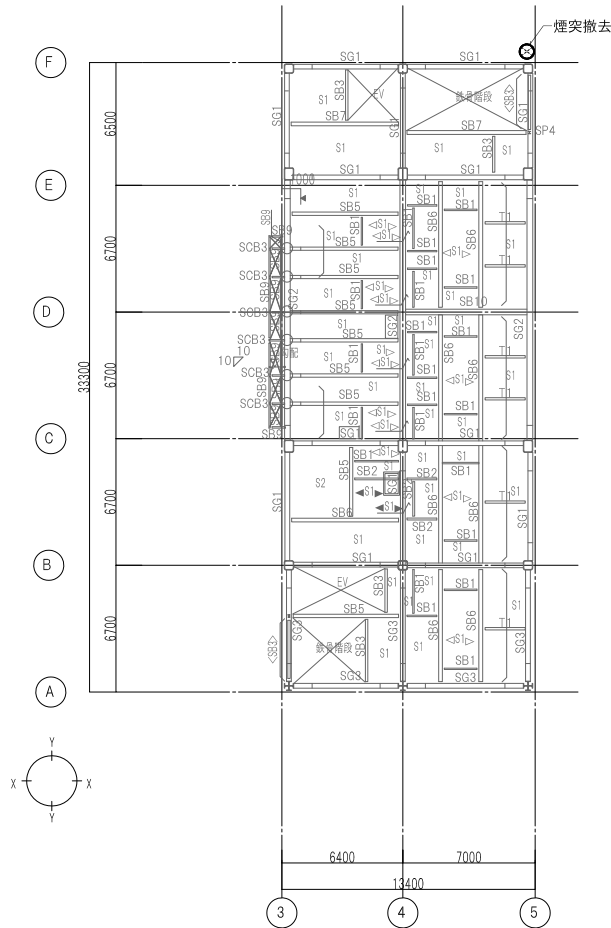


改修後 5FL-1350レベル伏図 1/200

改修後 5階床梁伏図 1/200

改修内容
・鉄骨下フランジ補強
・鉄骨間柱追加
・鉄骨さび止め塗装(耐火被覆(補強部分)
※補強部材は耐火被覆無し

特記なき限り下配による	
1. < > : 二段梁を示し、天端は階段踊り場レベルとする。	
2. ◀▶ : 鉄骨梁の剛接合部	
3. ◁▷ : 屋根ブレース V1	
4. () : 内数値は nFLからの寸法を示す。	
5. ▶→ : スラブ勾配	
6. ▶ : 鉄骨の現場観手位置	

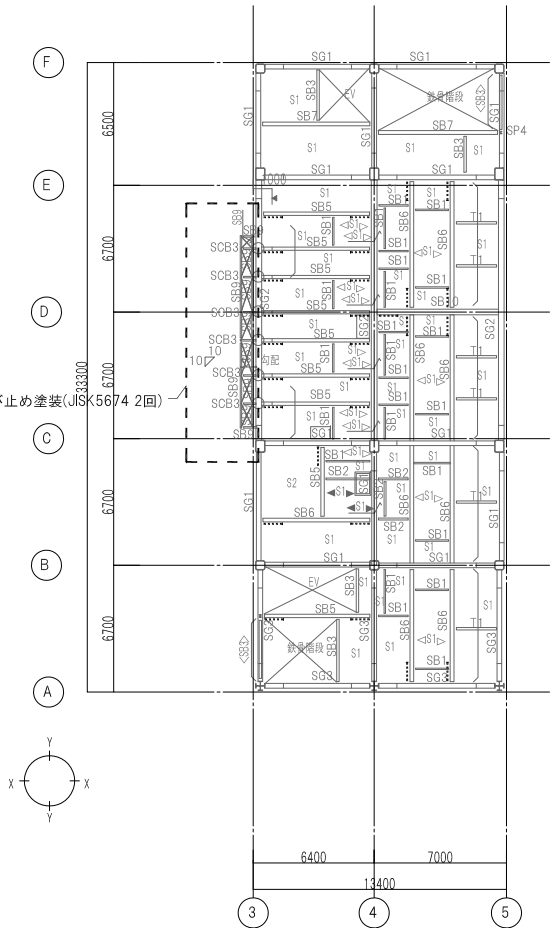


改修前 6階床梁伏図 1/200

撤去内容
・補強部分の鉄骨耐火被覆、さび止め撤去
・煙突撤去

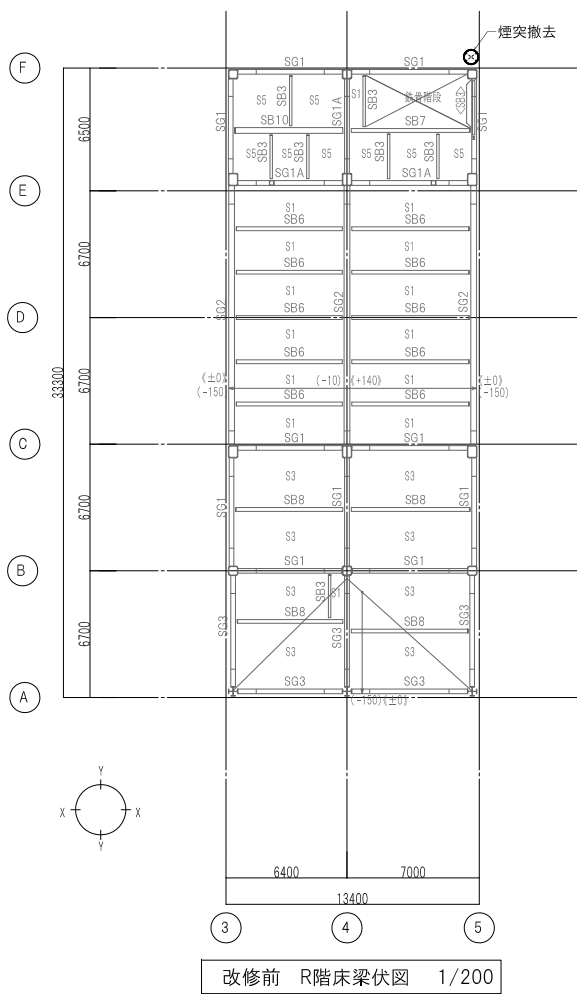
梁、床版天端は下配による	
一般梁 : n F L - 1 6 0	一般床版 : n F L - 1 0
[] : n F L - 1 0	◀▶ : n F L - 1 6 0
○ : n F L - 1 5 0	<▶ : n F L - 2 0 0
□ : n F L - 3 1 0	(()) : n F L - 1 5 5 0
▢ : n F L - 4 6 0	
⟨ ⟩ : n F L - 1 7 0 0	

特記なき限り下配による	
1. < > : 二段梁を示し、天端は階段踊り場レベルとする。	
2. ㊦ : 鉄骨梁の剛接合部	
3. ㊦ : 屋根ブレース V1	
4. () 内数値は nFL からの寸法を示す。	
5. ㊦ : スラブ勾配	
6. ▶ : 鉄骨の現場継手位置	



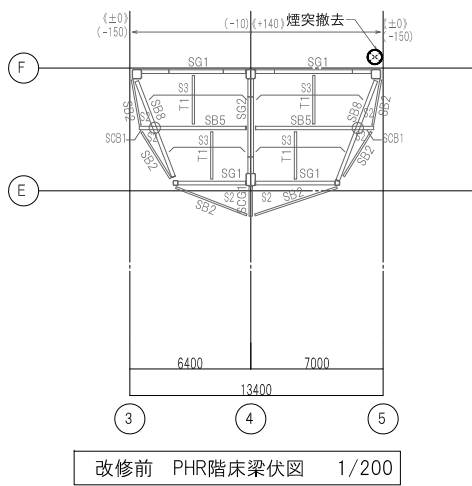
改修後 6階床梁伏図 1/200

改修内容
・鉄骨下フランジ補強
・鉄骨間柱追加
・鉄骨さび止め塗装耐火被覆(補強部分)
※補強部材は耐火被覆無し



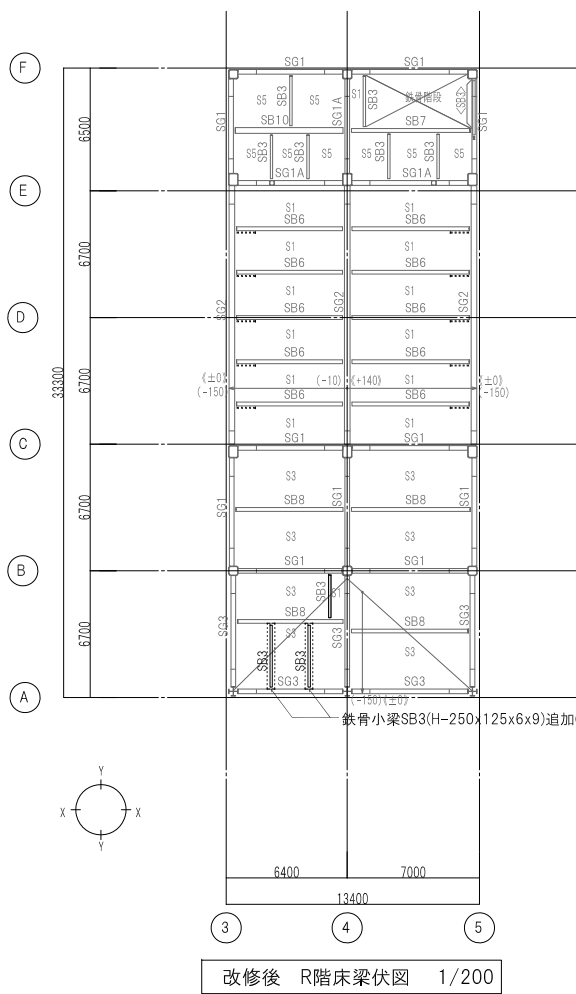
改修前 R階床梁伏図 1/200

撤去内容
・補強部分の鉄骨耐火被覆、さび止め撤去
・煙突撤去



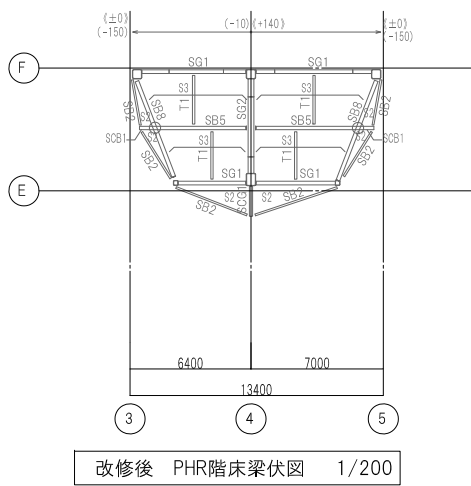
改修前 PHR階床梁伏図 1/200

- 特記なき限り下記による
1. 一般梁天端：n F L - 1.5 O
 2. 一般床版天端：n F L ± 0
 3. () 内数値は n F L から梁天端までの寸法を示す。
 4. 《 》 内数値は n F L から床版天端までの寸法を示す。
 5. ：鉄骨梁の剛接合部
 6. ：スラブ勾配
 7. < >：二段梁を示し、天端は階段踊り場レベルとする。

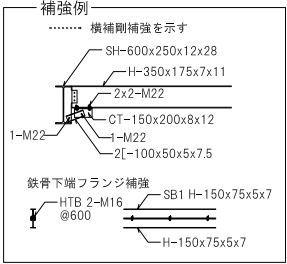


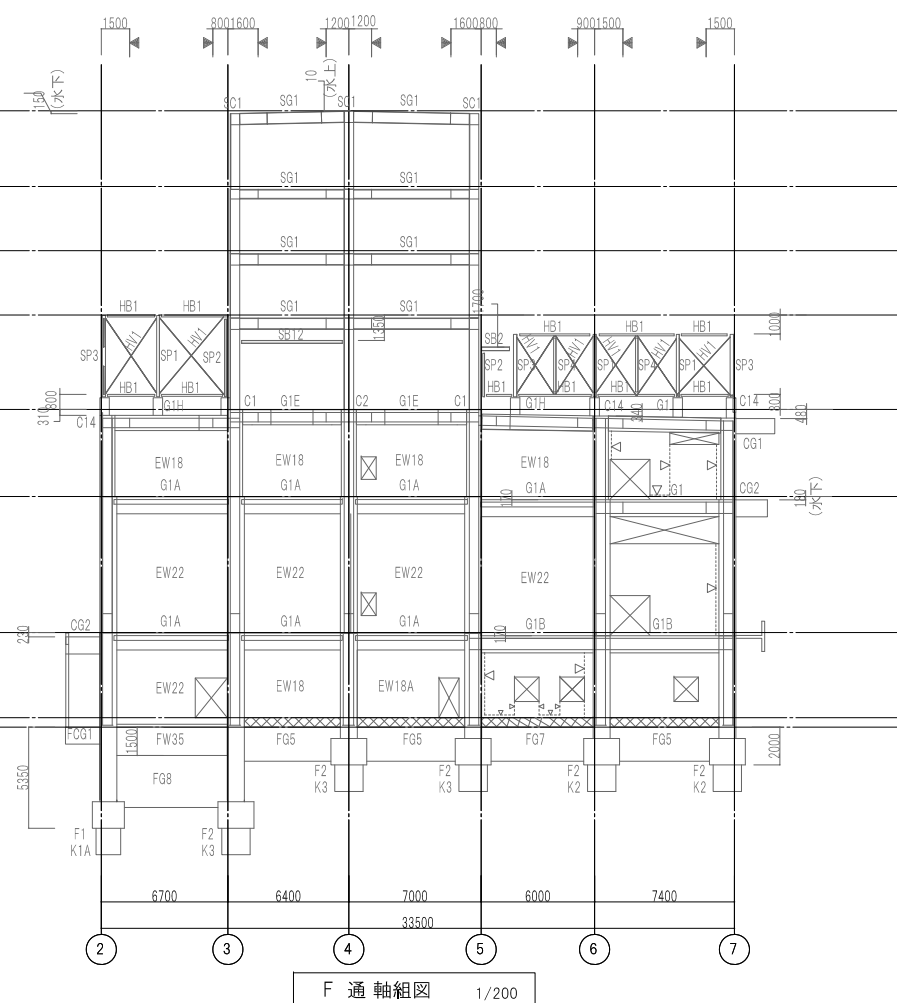
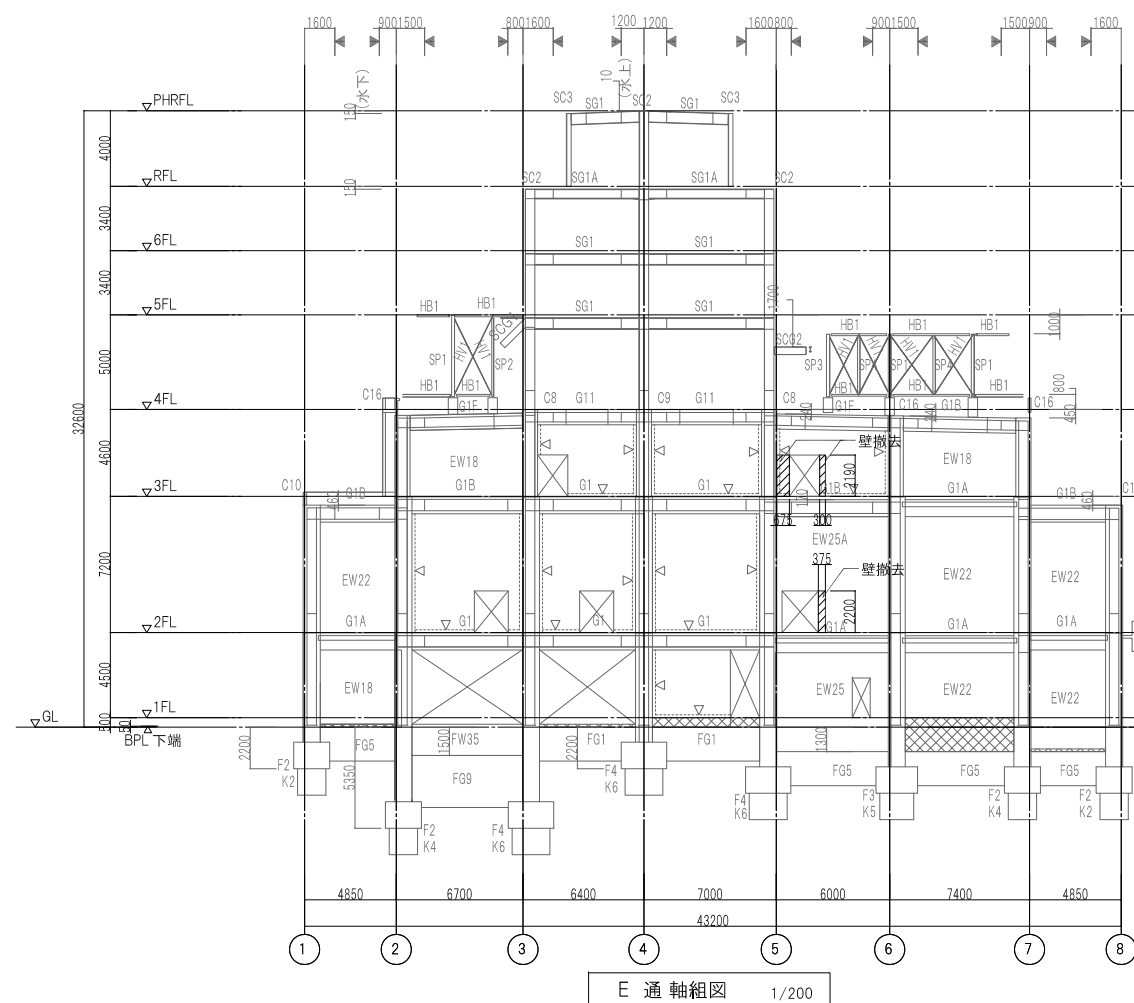
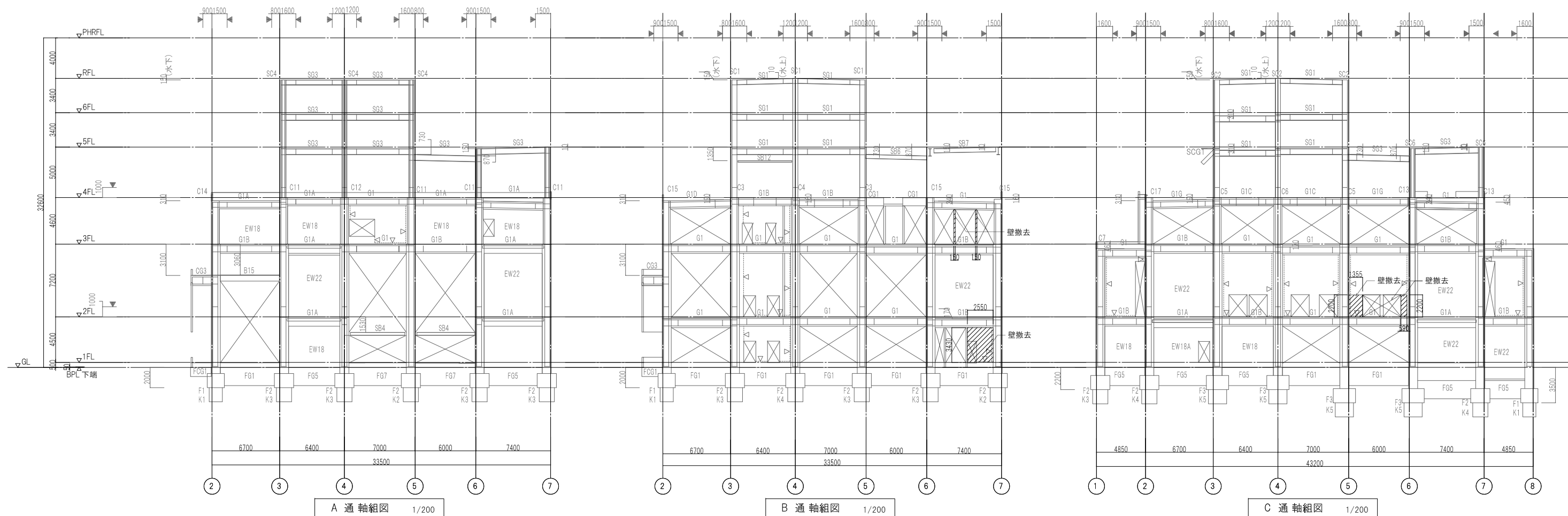
改修後 R階床梁伏図 1/200

改修内容
・鉄骨下フランジ補強
・鉄骨小梁追加
・鉄骨さび止め塗装・耐火被覆(補強部分)
※補強部材は耐火被覆無し

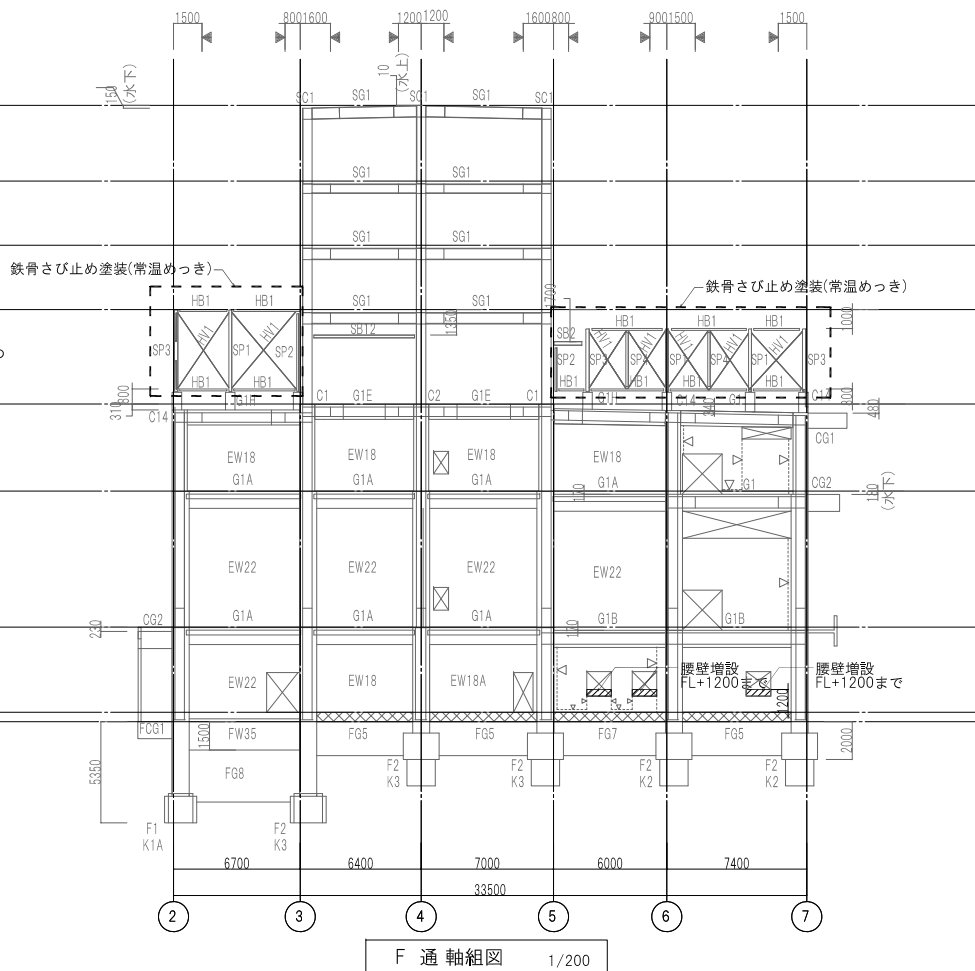
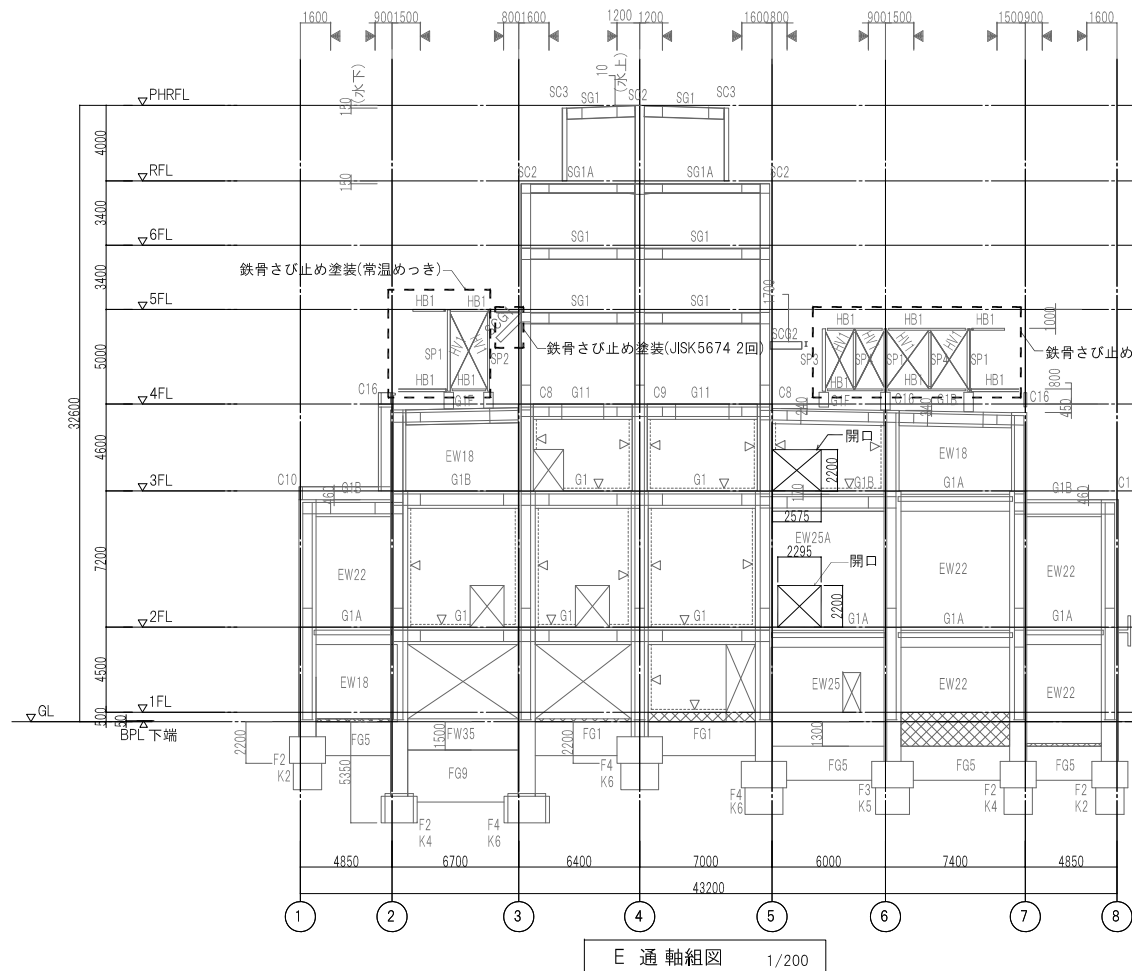
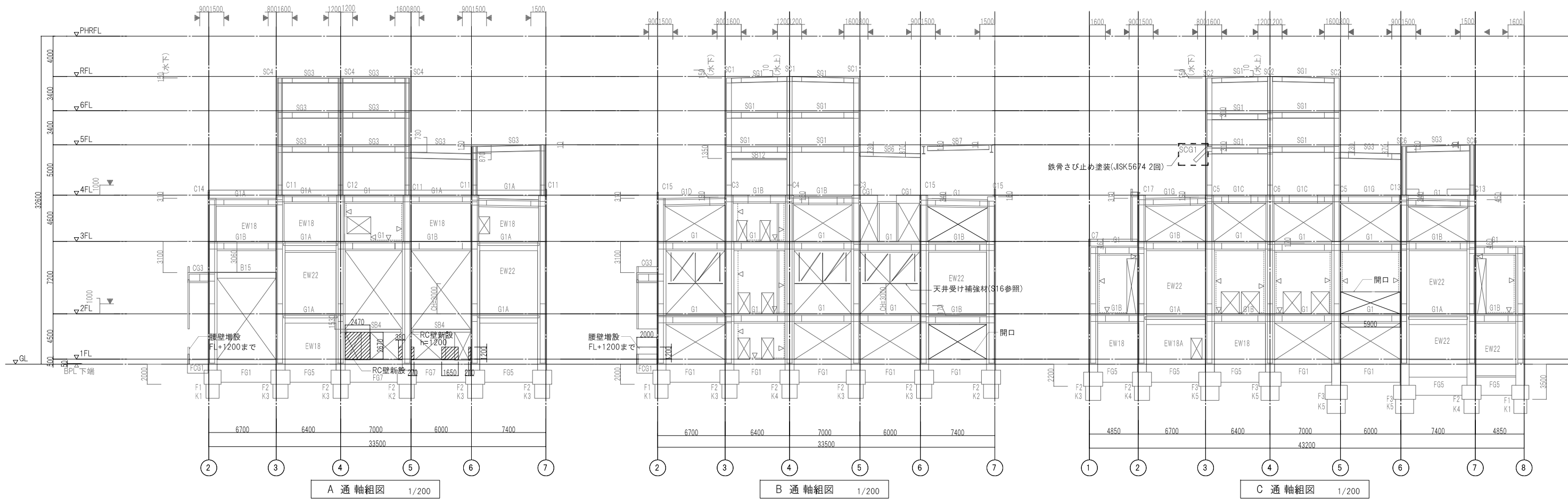


改修後 PHR階床梁伏図 1/200





- 特記なき限り下記による
- 一般壁：1階・3階 W15、2階 W18
 - 壁スリット
 - 増打コンクリート
 - 鉄骨の現場継手位置
 - 一般地中梁天端：GL±0
 - 2、3階一般RC梁天端：nFL-20
4階一般RC梁天端：nFL-10
5～PHR階一般鉄骨梁天端：nFL-160
 - 壁撤去、開口追加において現地実測の寸法を調整すること。



※外張タイル補修数量は施工数量調査により確認すること。

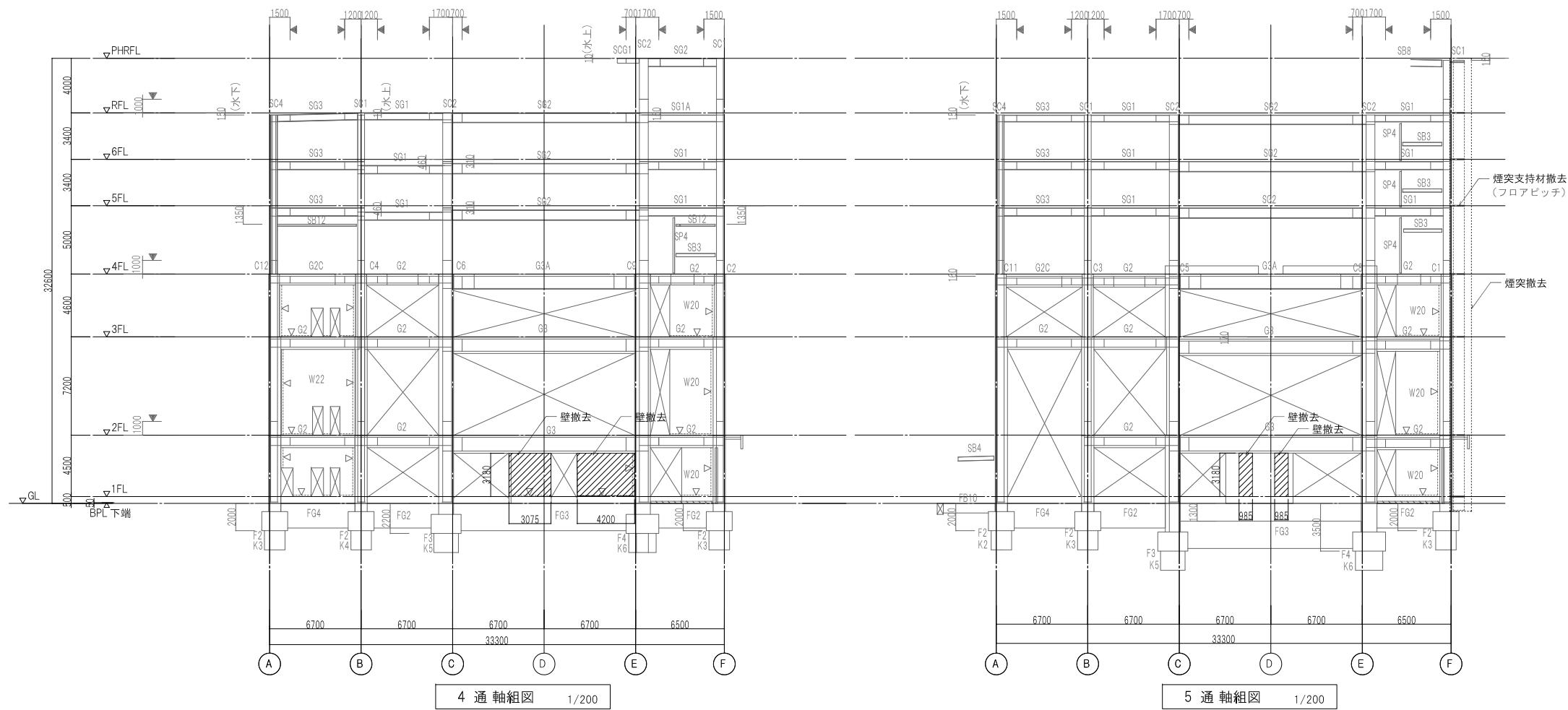
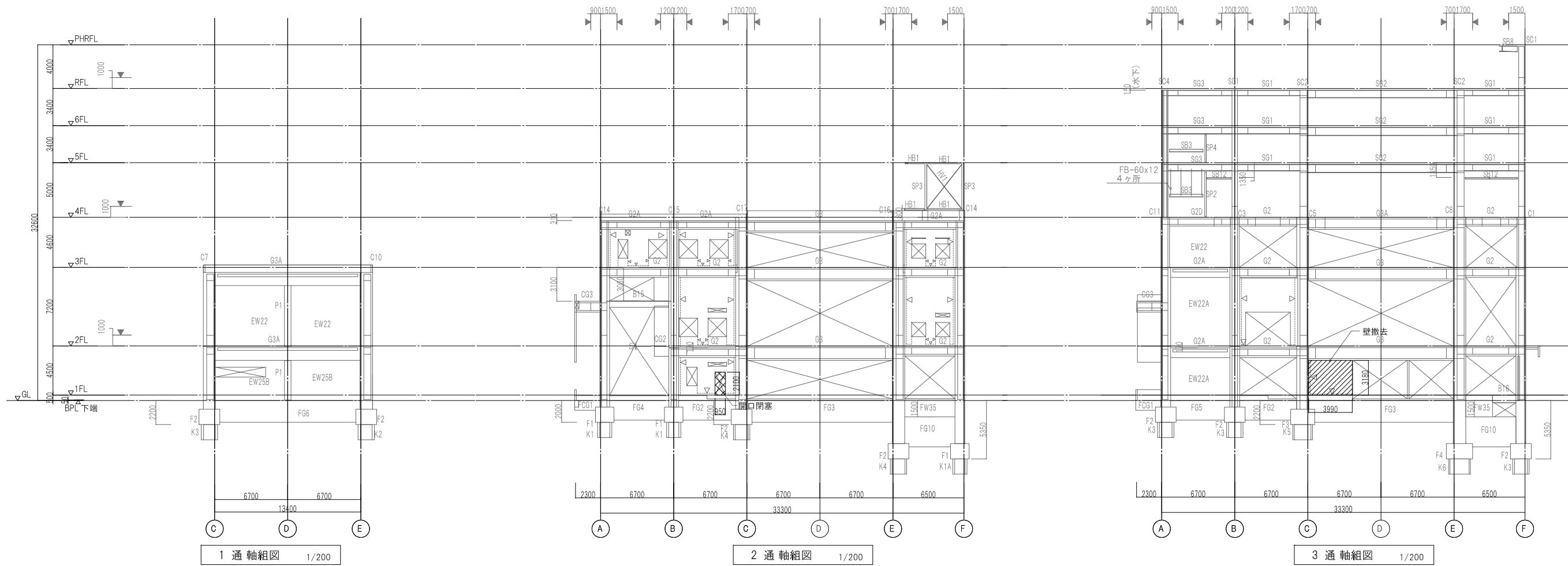
①タイル部分張り替え数量	
平 45 二丁	920枚
平 50 用	30枚
マグさ	30ヶ
曲り	40ヶ

②ひび割れ補修工事(自動式低圧エポキシ樹脂注入工法)
292.9m

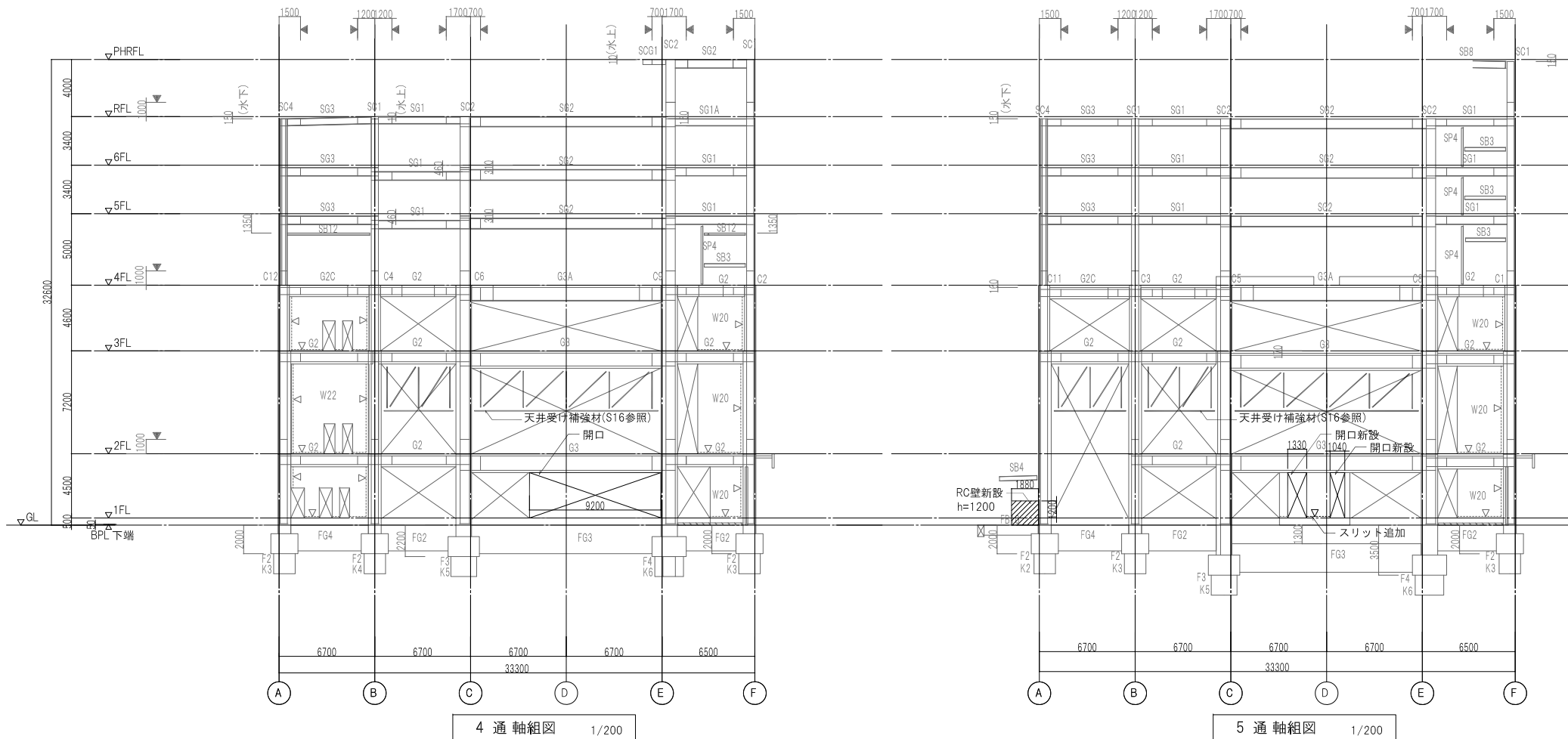
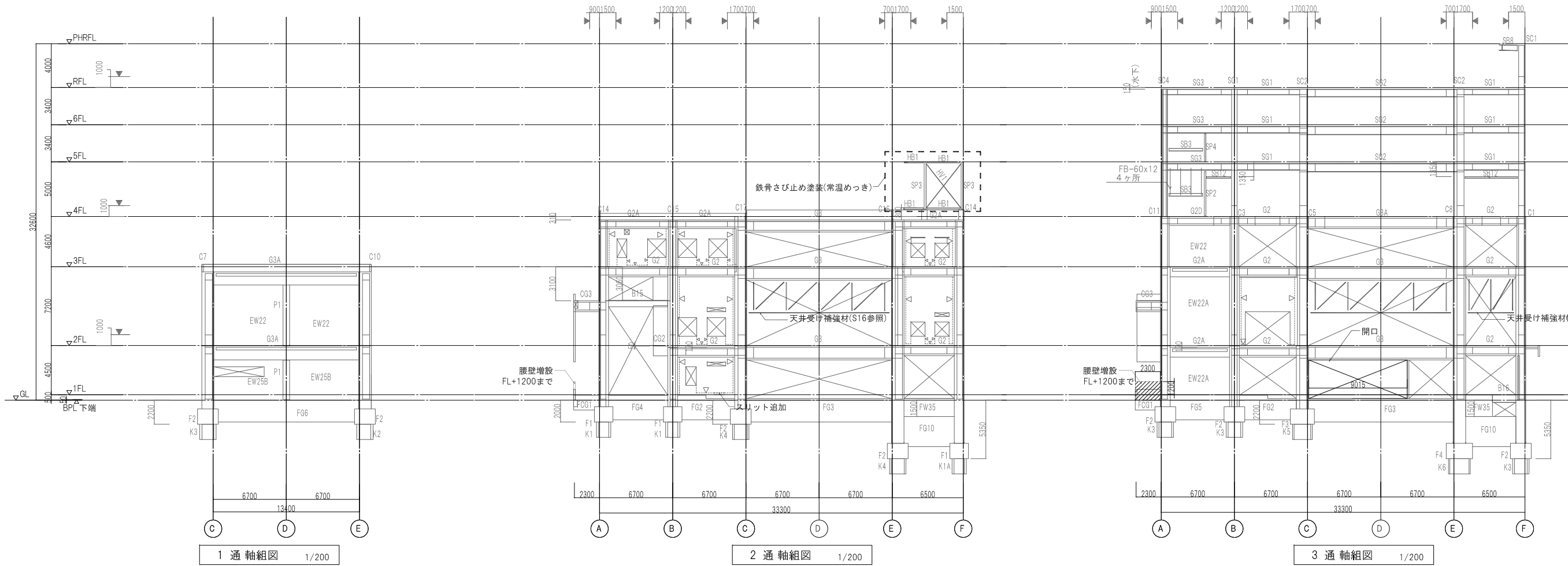
③浮き部改修工法(注入口付アンカーピンニング)
826 m²

特記なき限り下記による

- 一般壁：1 階・3 階 W15 、2 階 W18
- 1/4：壁スリット
- 1/4：増打コンクリート
- 1/4：鉄骨の現場継手位置
- 一般地中梁天端：nFL±0
- 2、3 階一般RC梁天端：nFL-20
4 階一般RC梁天端：nFL-10
5～PHR階一般鉄骨梁天端：nFL-160
- 壁撤去、開口追加において現地実測の寸法を調整すること。

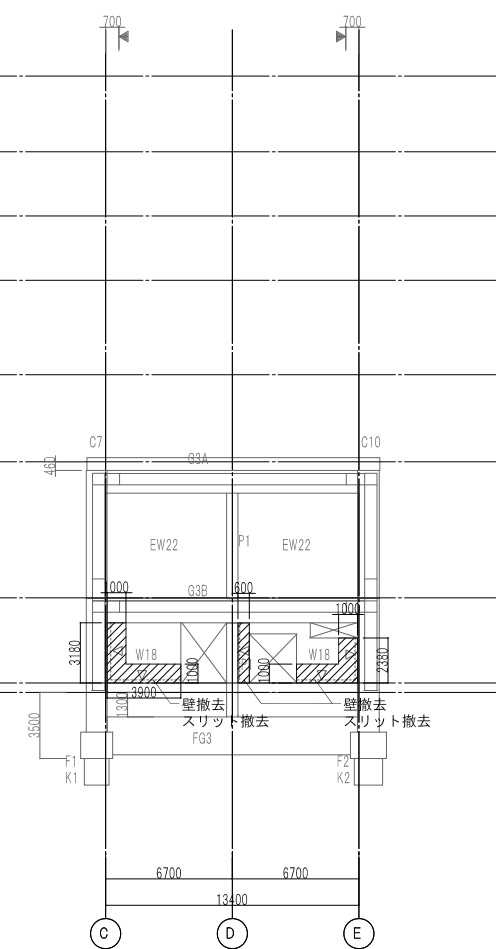
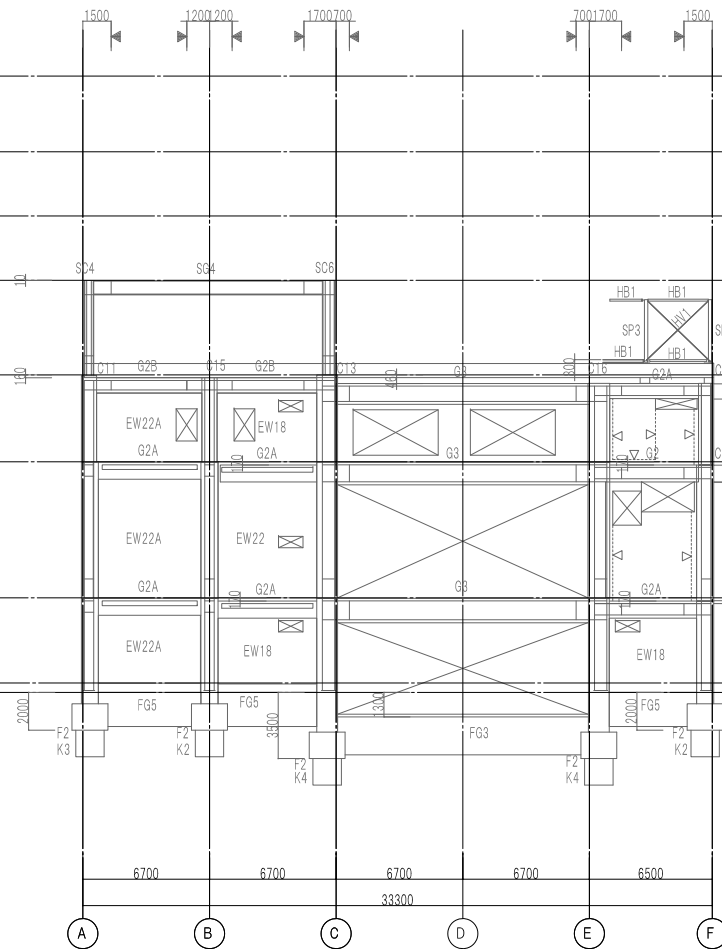
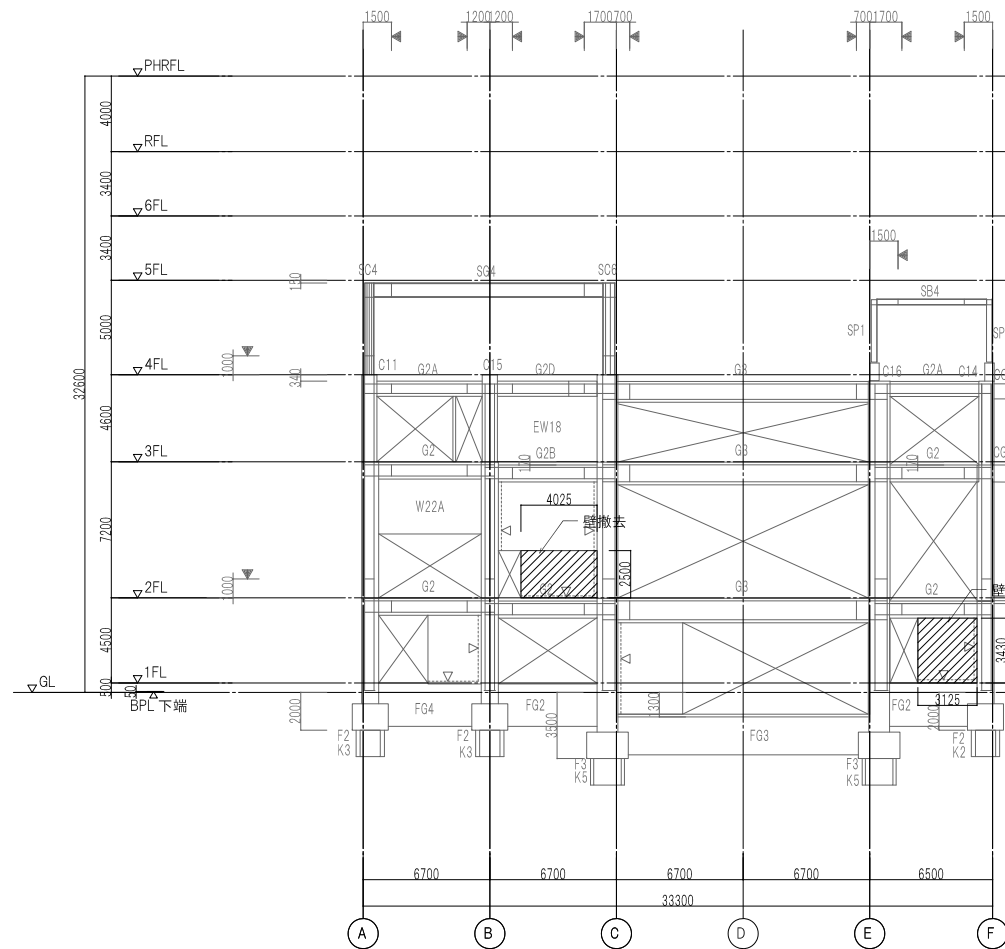


- 特記なき限り下記による
- 一般壁：1階・3階 W15、2階 W18
 - 壁スリット
 - 増打コンクリート
 - 鉄骨の現場継手位置
 - 一般地中梁天端：G.L.±0
 - 2、3階一般RC梁天端：n.F.L.-20
4階一般RC梁天端：n.F.L.-10
5～P.H.R.階一般鉄骨梁天端：n.F.L.-160
 - 壁撤去、開口追加において現地実測の寸法法を調整すること。

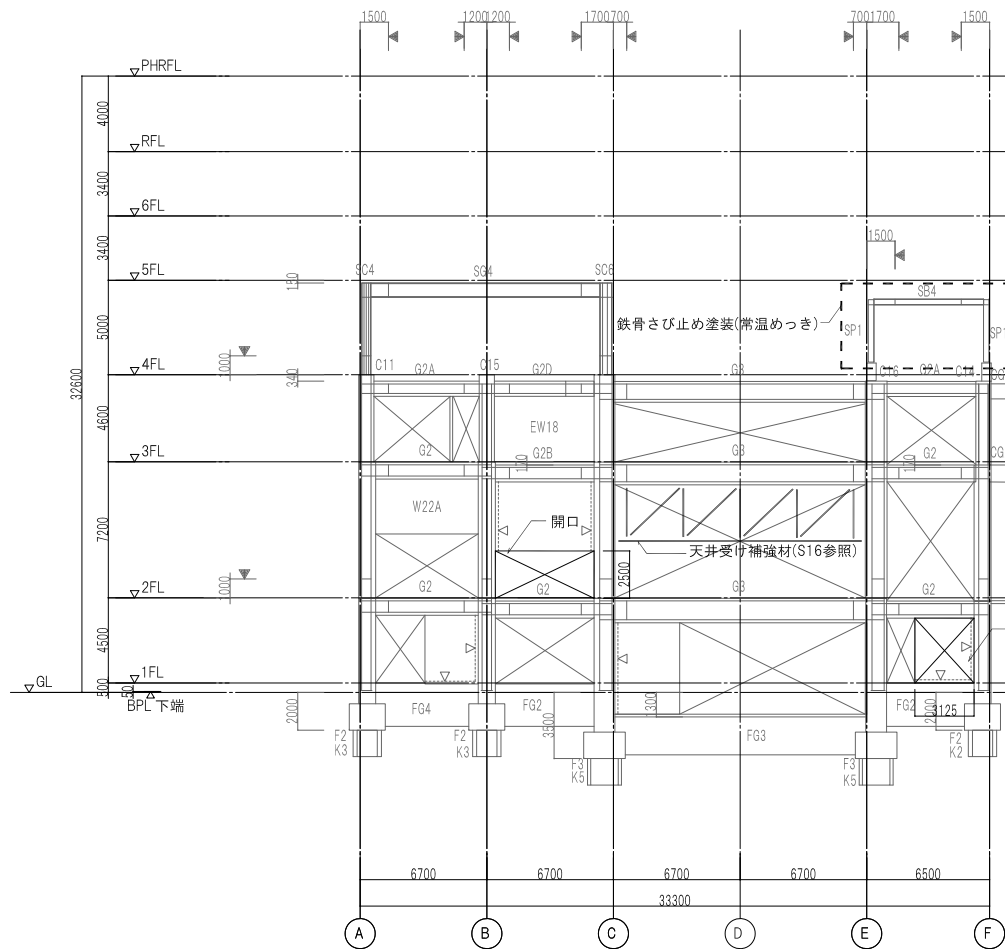


- ※外張タイル補修数量は施工数量調査により確認すること。
- ①タイル部分張り替え数量
- | | |
|---------|------|
| 平 45 二丁 | 920枚 |
| 平 50 用 | 30枚 |
| マグさ | 30ヶ |
| 曲り | 40ヶ |
- ②ひび割れ補修工事(自動式低圧エポキシ樹脂注入工法)
292.9m
- ③浮き部改修工法(注入口付アンカーピンニング)
826 m²

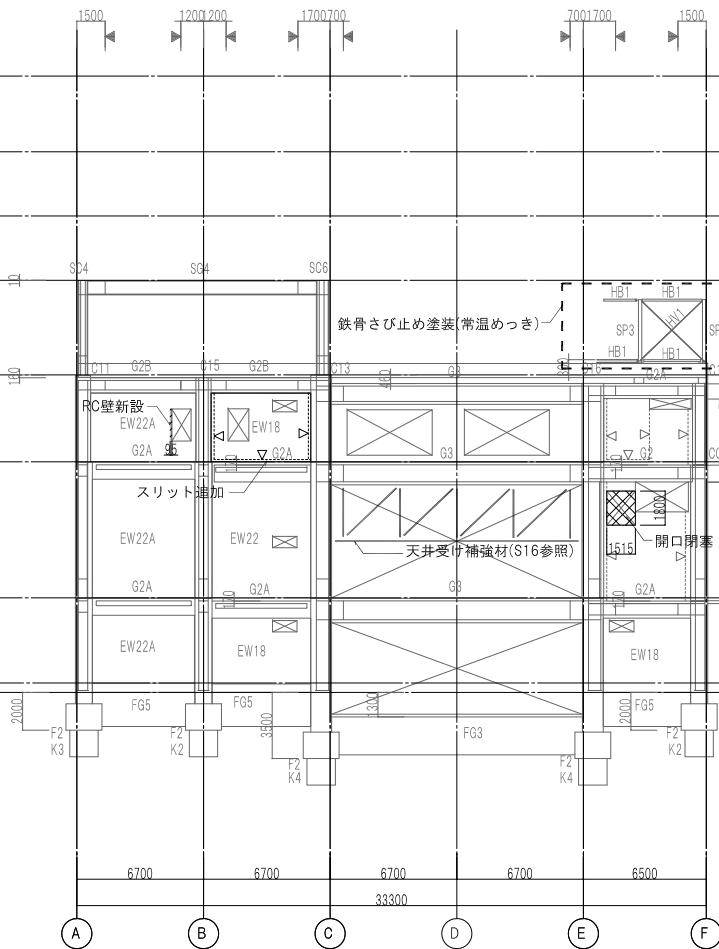
- 特記なき限り下記による
- 一般壁：1階・3階 W15、2階 W18
 - 壁スリット
 - 増打コンクリート
 - 鉄骨の現場継手位置
 - 一般地中梁天端：GL±0
 - 2、3階一般RC梁天端：nFL-20
4階一般RC梁天端：nFL-10
5～PHR階一般鉄骨梁天端：nFL-160
 - 壁撤去、開口追加において現地実測の寸法を調整すること。



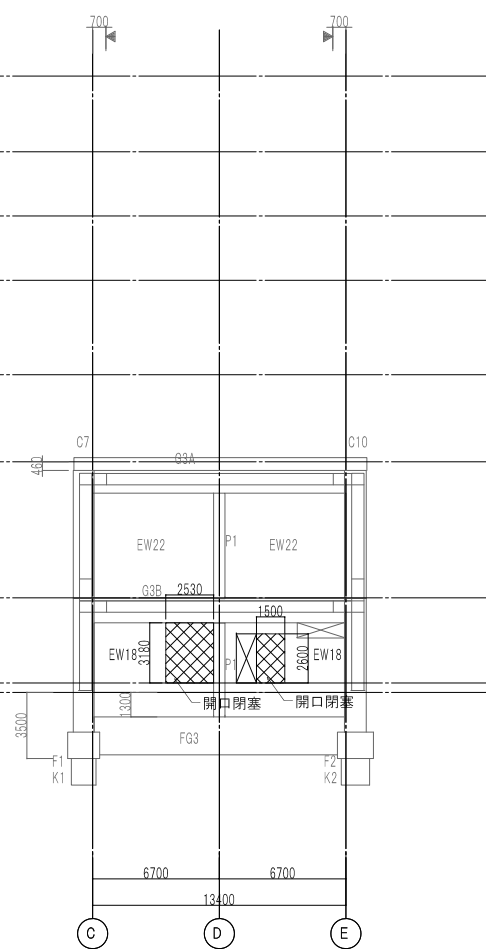
- 特記なき限り下記による
- 一般壁：1階・3階 W15、2階 W18
 - 壁スリット
 - 増打コンクリート
 - 鉄骨の現場継手位置
 - 一般地中梁天端：G.L.±0
 - 2、3階一般RC梁天端：n.F.L.-20
4階一般RC梁天端：n.F.L.-10
5～PHR階一般鉄骨梁天端：n.F.L.-160
 - 壁撤去、開口追加において現地実測の上寸法を調整すること。



6 通 軸組図 1/200



7 通 軸組図 1/200



8 通 軸組図 1/200

※外張タイル補修数量は施工数量調査により確認すること。

①タイル部分張り替え数量

平 45 ニ丁	920枚
平 50 用	30枚
マグさ	30ヶ
曲り	40ヶ

②ひび割れ補修工事(自動式低圧エポキシ樹脂注入工法)

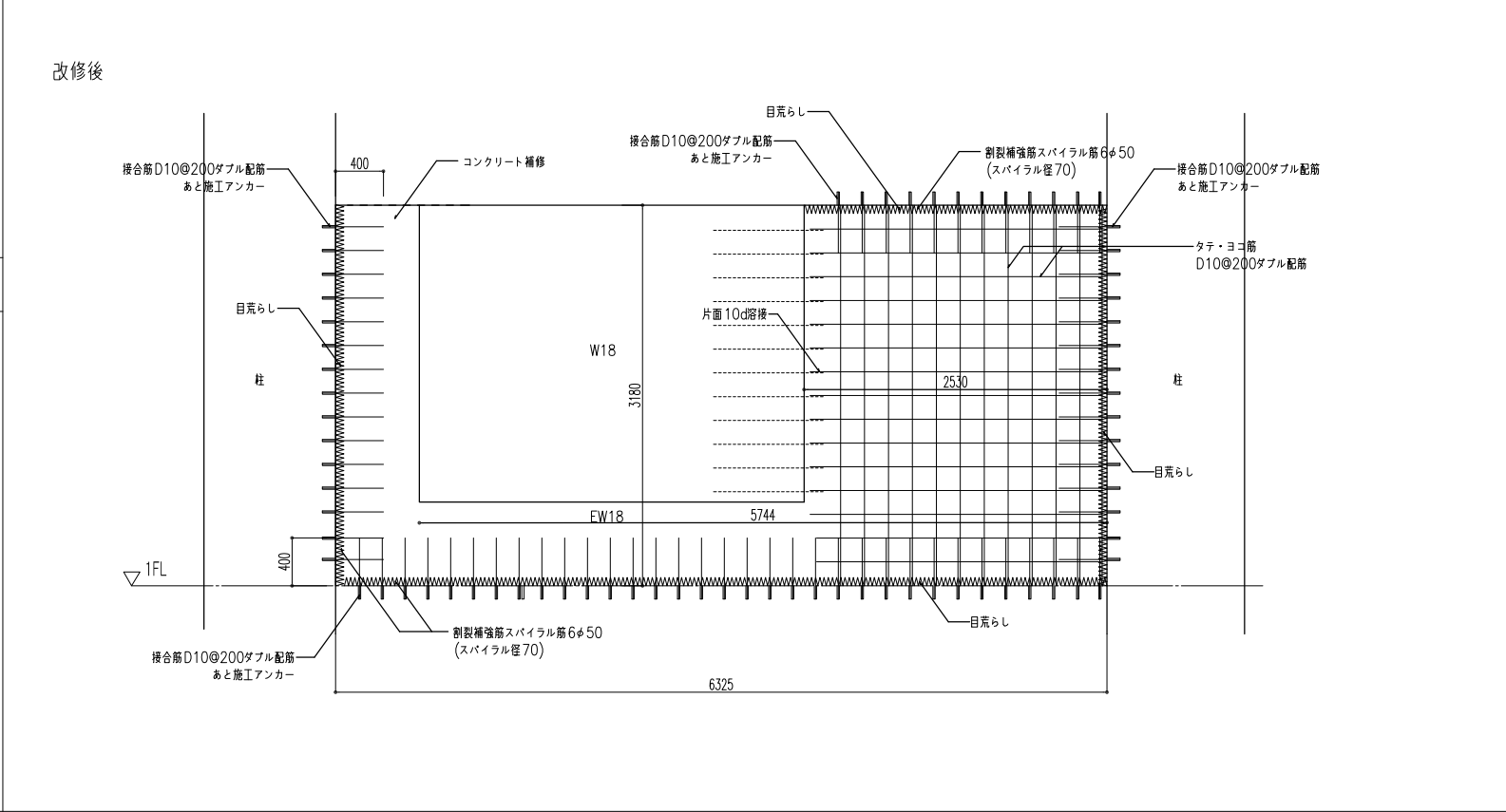
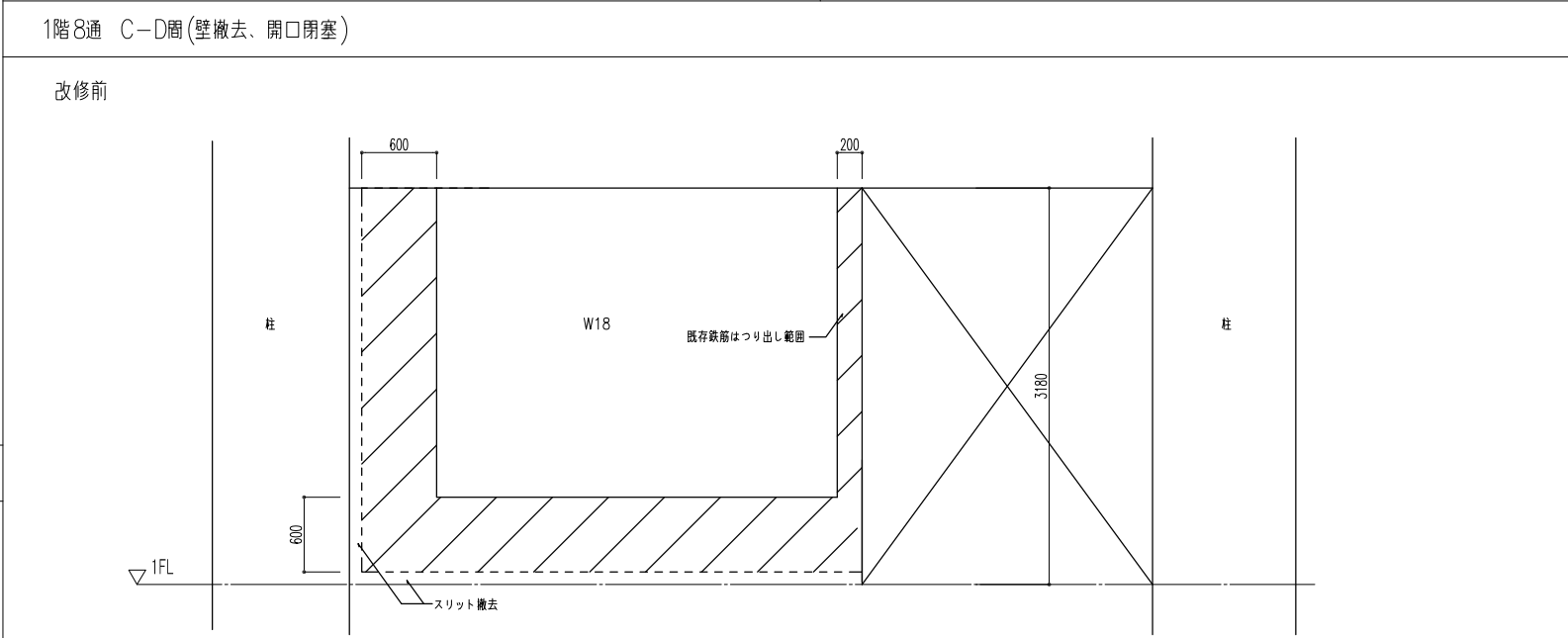
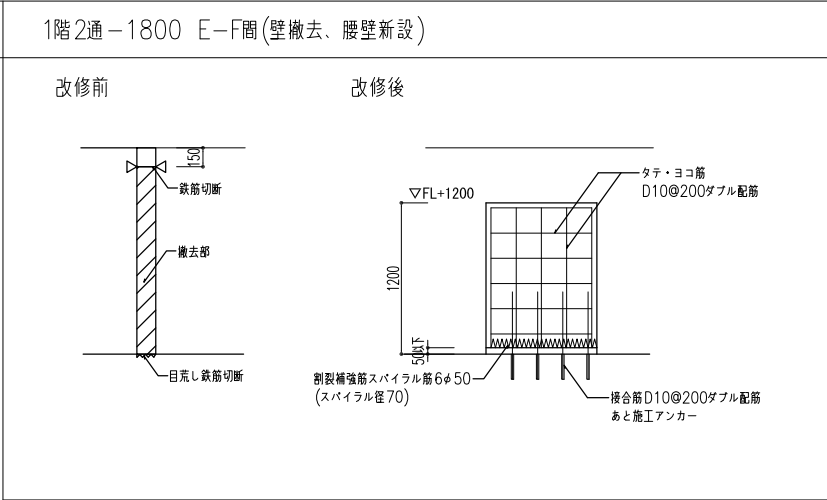
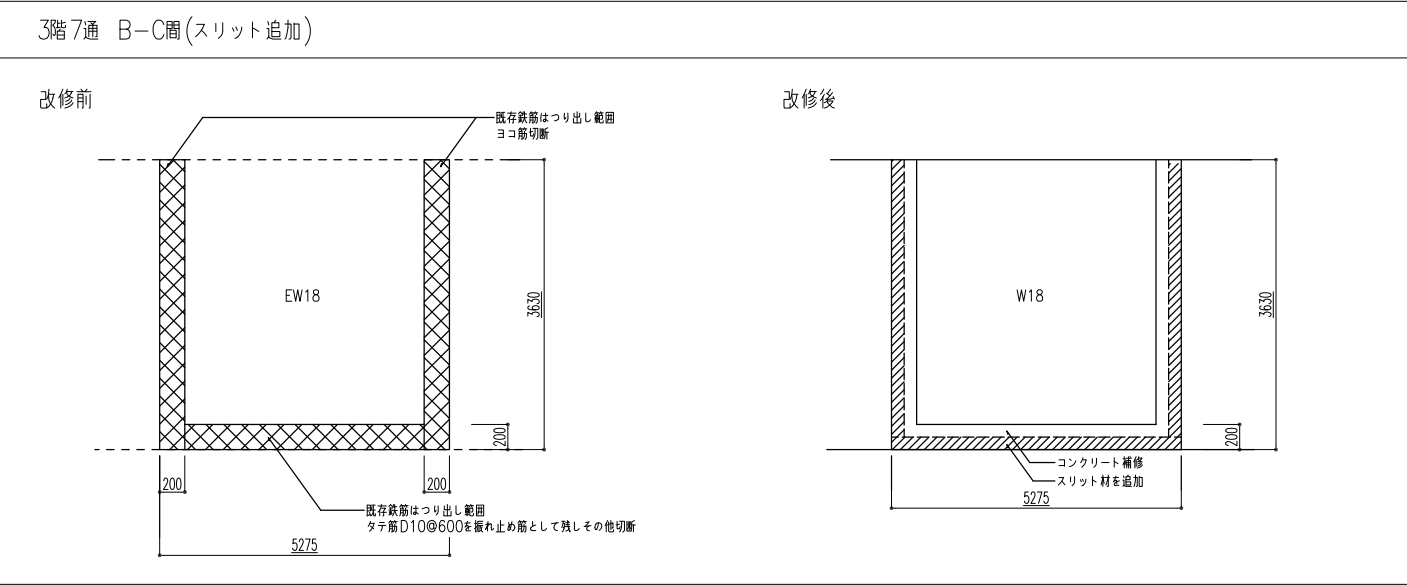
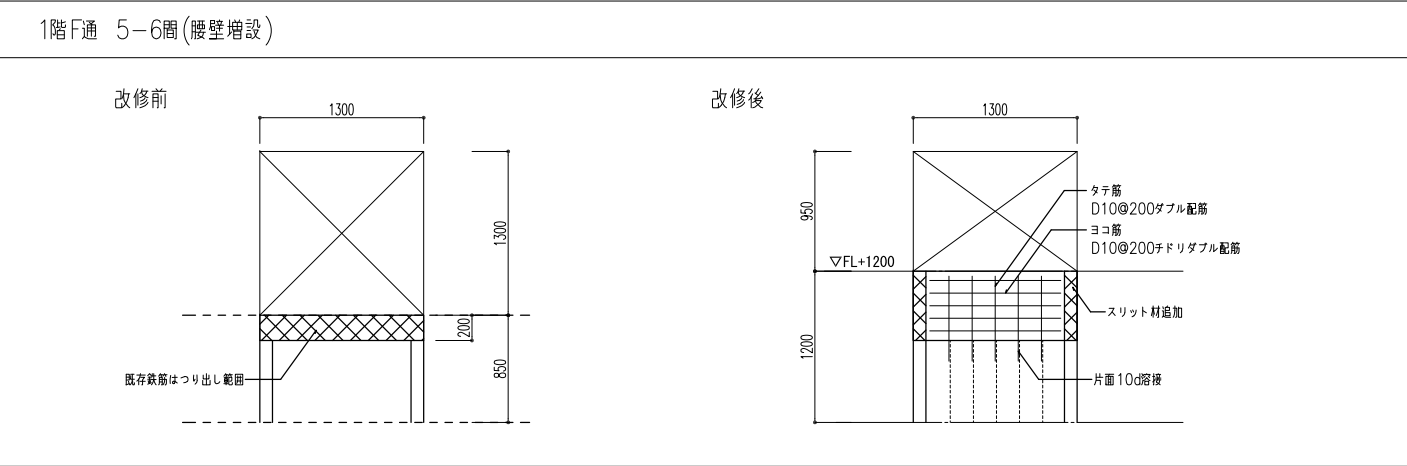
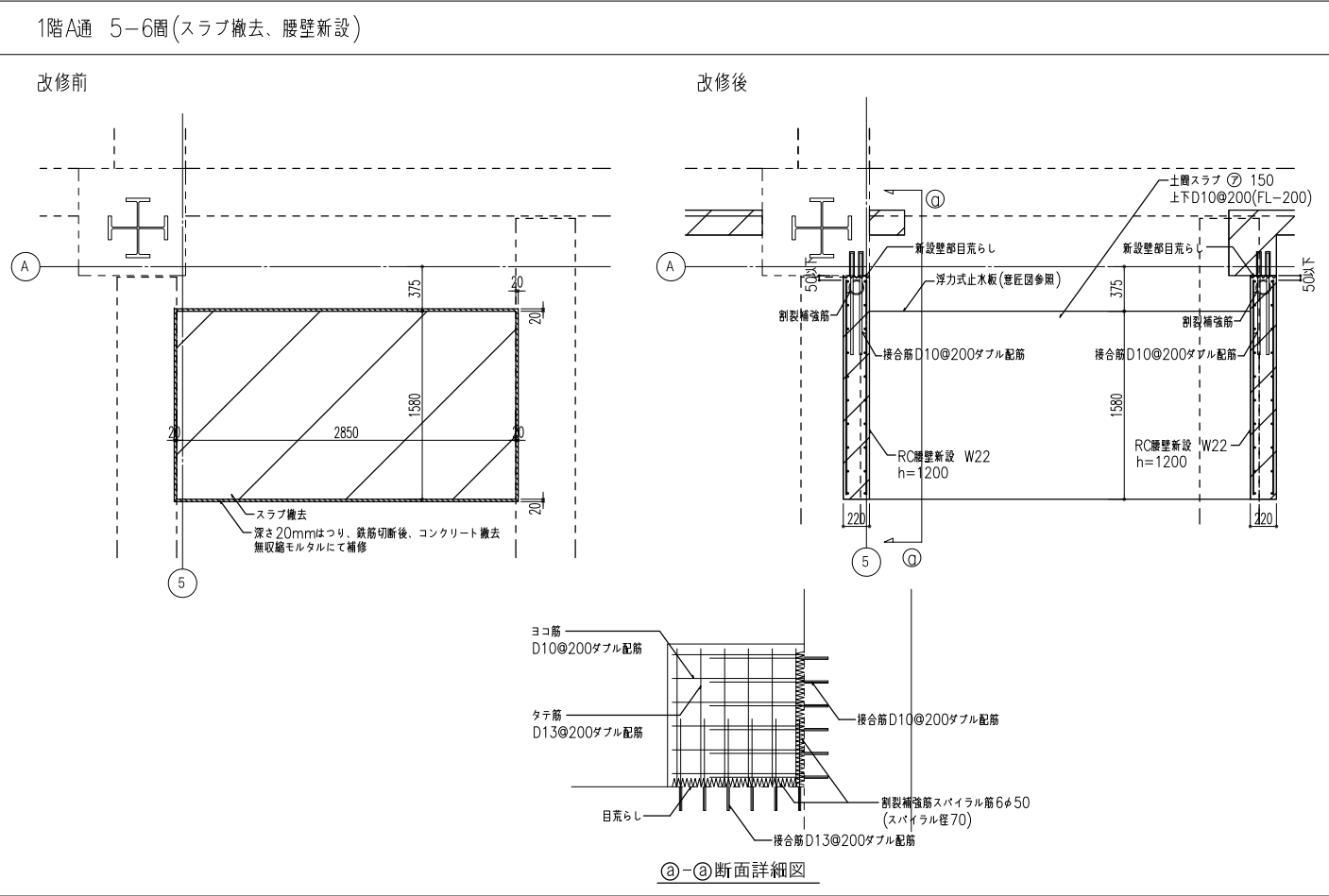
292.9m

③浮き部改修工法(注入口付アンカーピンニング)

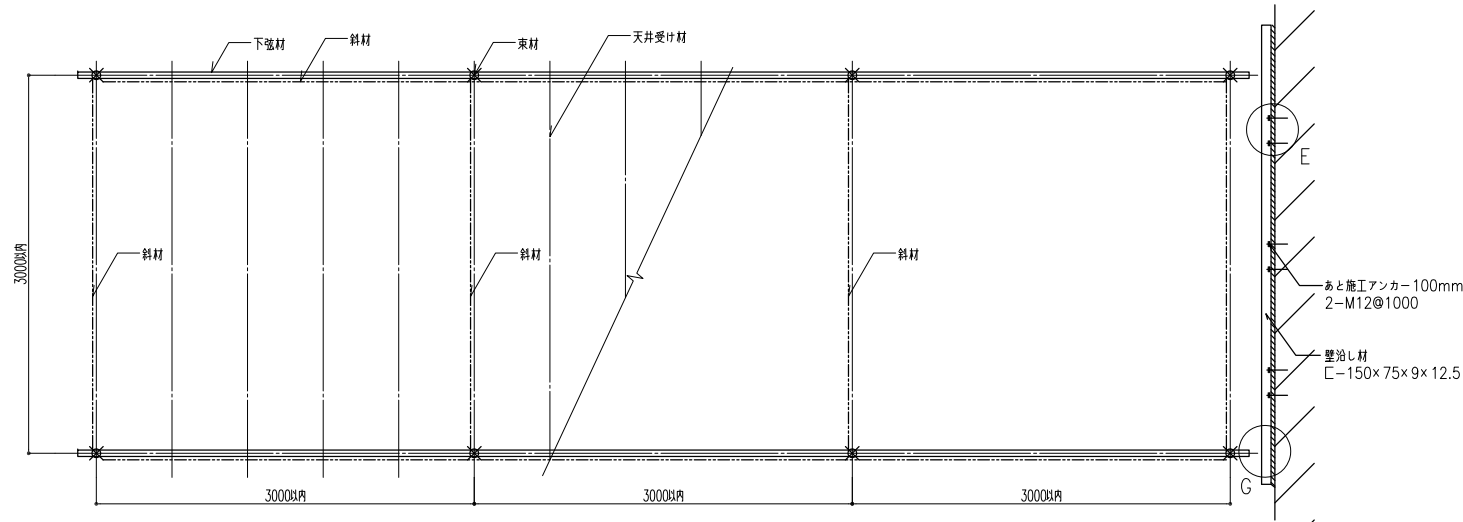
826 m²

特記なき限り下記による

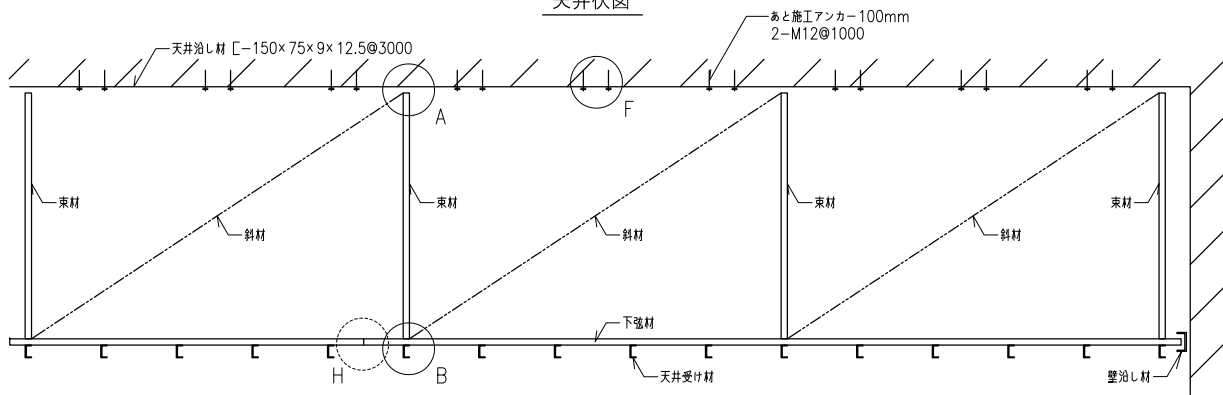
- 一般壁：1階・3階 W15 、2階 W18
- 壁スリット
- 増打コンクリート
- 鉄骨の現場継手位置
- 一般地中梁天端：G.L.±0
- 2、3階一般RC梁天端：n F.L.－2.0
4階一般RC梁天端：n F.L.－1.0
5～PHR階一般鉄骨梁天端：n F.L.－1.60
- 壁撤去、開口追加において現地実測の上寸法を調整すること。



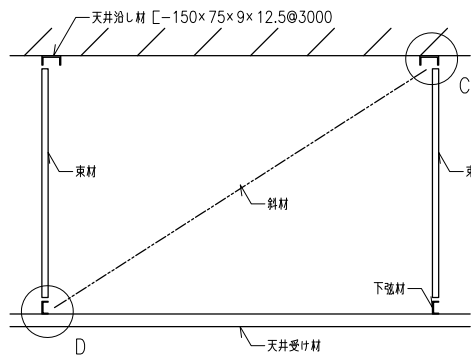
2階天井補強詳細図



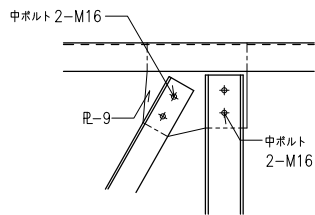
天井伏図



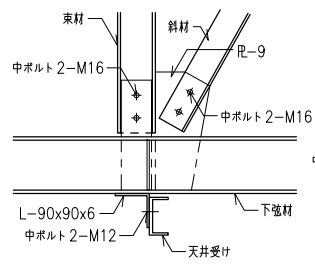
天井軸図X方向



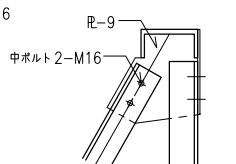
天井軸図Y方向



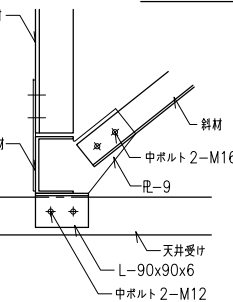
A部詳細図 1/10



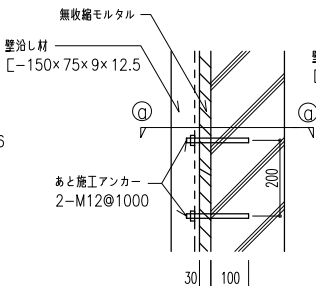
B部詳細図 1/10



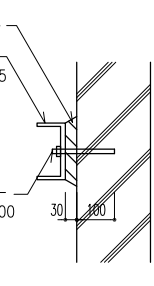
C部詳細図 1/10



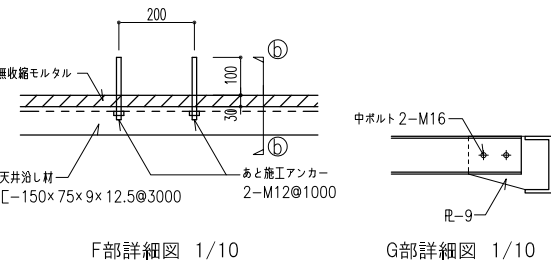
D部詳細図 1/10



E部詳細図 1/10

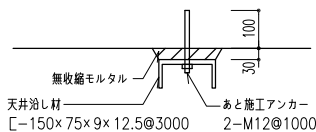


F部詳細図 1/10



G部詳細図 1/10

① 矢視図 1/10



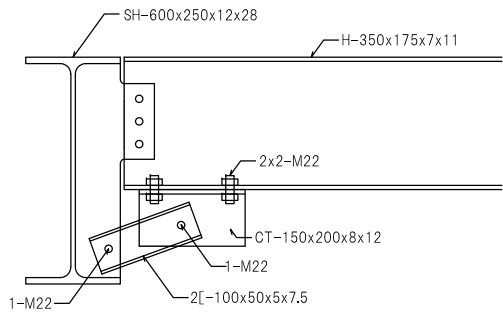
H部詳細図 1/10

② 矢視図 1/10

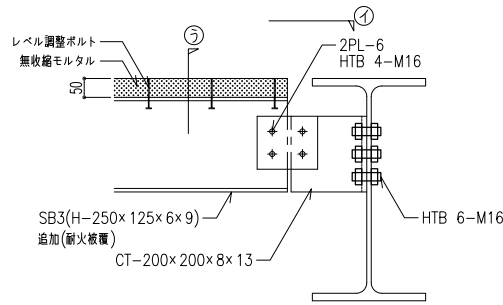
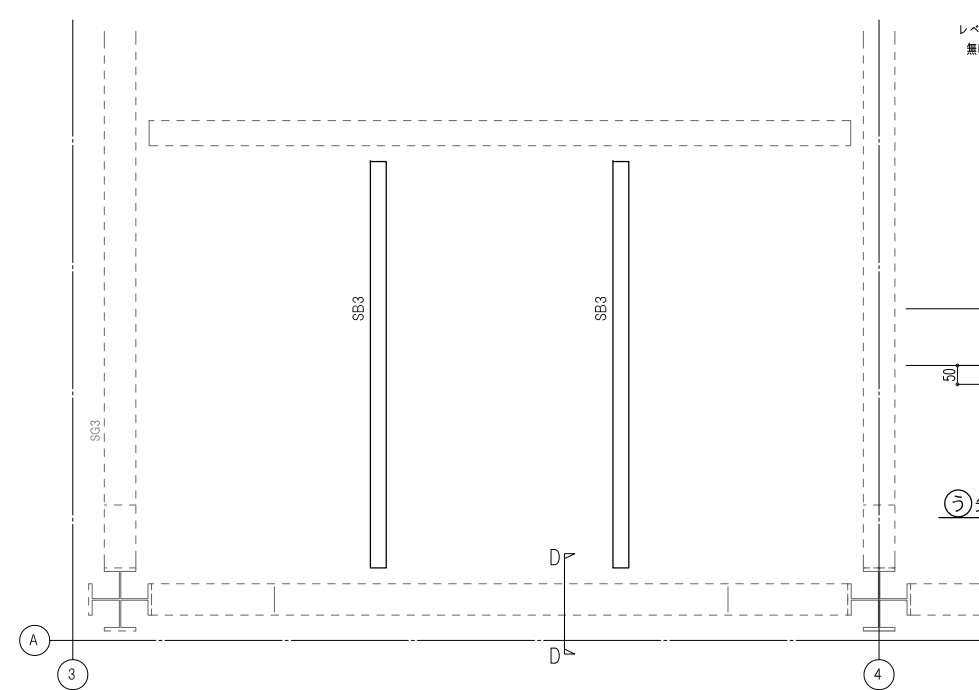
*下弦材のJoint位置は束材より200mm以内の範囲とし9m毎に設ける

符 号	部材断面寸法	中ボルト	配	備 考
束材	C-100×50×7.5@3000	2-M16	配 - 9	SS400 9m ² に1か所
斜材	L-75×75×9	2-M16	配 - 9	SS400 束材位置X、Y方向1ヶ所
下弦材	C-100×50×5×7.5@3000	2-M16	配 - 9	SS400
天井受け	C-100×50×20×2.3@600	2-M12	配 - 6	SSC400

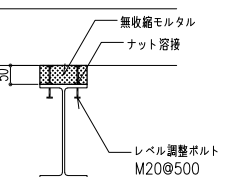
横補剛補強要領図 1/10



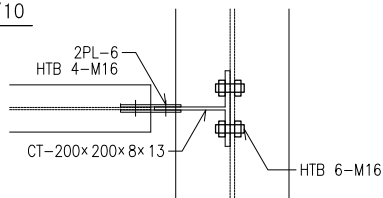
床補強小梁詳細図



D-D詳細図 1/10



⑤ 矢視図 1/10



① 矢視図 1/10